

早わかり福井

～福井統計データブック～



生かします。あなたにもらった貴重なデータ

目 次

『統計』って何だろう	1
統計グラフにはいろいろな種類があるよ！	2
どちらのグラフが分かりやすいかな？	3
福井県のあらまし	4
人口・世帯	6
経 済	8
農林水産業	10
工 業	12
商 業	14
労 働	16
貿 易	18
観 光	19
エネルギー	20
教 育	21
福祉・医療	22
高齢化・健康長寿	23
交通事故・防犯・防災	24
家計・消費	25
財 政	27
平成18年度統計グラフ福井県コンクール入賞作品	28

利用される方へ

- 1 統計資料は、原則として平成19年6月1日現在、最新のデータを掲げています。
- 2 総数と内訳の合計が一致しないものがありますが、これは主に単位未満を四捨五入したことによります。
- 3 本書の内容は、インターネットでも御覧になれます。
福井県統計情報システム <http://toukei.pref.fukui.jp/>
- 4 本書についての問い合わせ先
福井県総務部政策統計課 TEL 0776-20-0273
FAX 0776-20-0630
E-mail: stat@pref.fukui.lg.jp

平成19年6月発行

編集発行 福井県統計協会

印 刷 藤田製本印刷株式会社

『統計』って何だろう？

●『統計』とは……

統計は、「人、物、出来事などの集団について調べたり、集めたりした結果を集計・加工した数値」のことです。

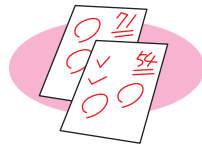
〔例〕

【集団】

全国で1年間に発生した交通事故
あるクラスのテストの結果

【統計】

→ 平成〇年交通事故発生件数(集計したもの)
→ そのクラスのテストの平均点(加工したもの)

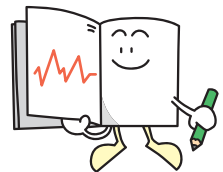


●『統計』の役割

物事の規模、特徴、性質などを客観的に数値で把握し分析できる



経験や直感に頼らない「**事実に基づく意思決定**」を支援



●『統計』の活用

行政

- ◆政策の企画・立案・実行のための基礎資料(PLAN、DO)
 - ◆政策効果の評価・検証(CHECK)
- など

民間企業

- ◆市場動向の分析
 - ◆経営戦略の企画・立案
 - ◆工場での品質管理
- など

家庭

- ◆景気動向に基づく経済活動
 - ◆物価変動に基づく購買行動
- など

その他、様々な分野で統計は活用されています。



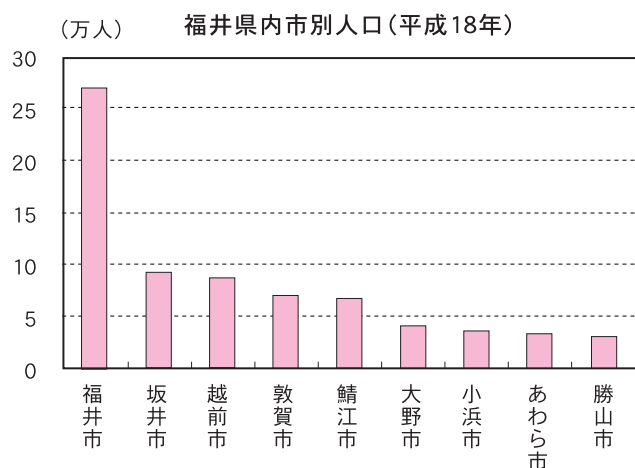
統計グラフにはいろいろな種類があるよ！

統計グラフには①棒グラフ、②折れ線グラフ、③円グラフ、④帯グラフなどがあります。グラフを作るときは、「何を比べるのか」、「何を伝えたいのか」などを考え、その目的に合った統計グラフを使いましょう。

① 棒グラフ

数量の差や大きさなどをあらわす

例) 福井県の各市の人口を比べてみよう

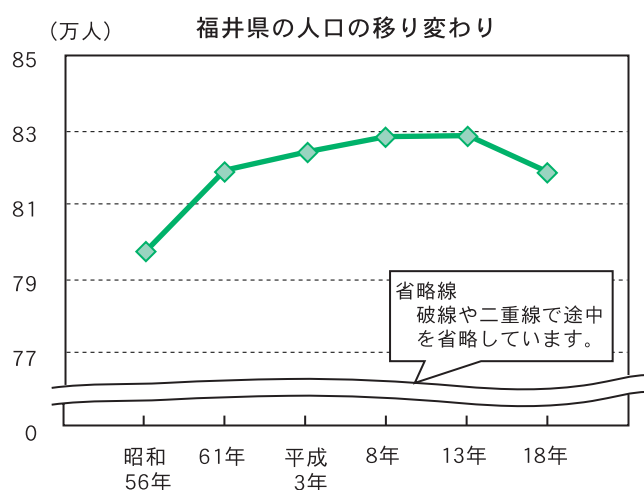


出典: 福井県の推計人口

② 折れ線グラフ

時間の移り変わりによる数の変化をあらわす

例) 福井県の人口の変化をみてみよう

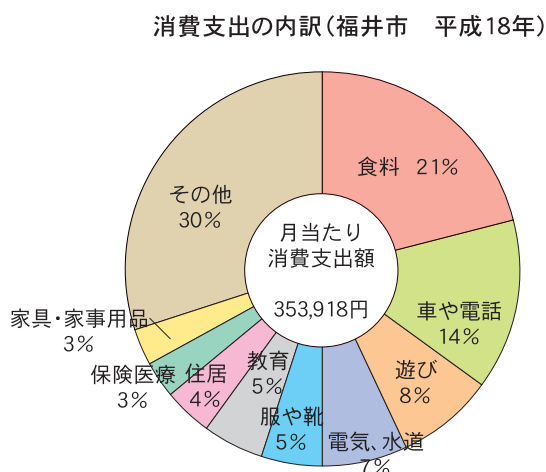


出典: 福井県の推計人口

③ 円グラフ

全体の中でどれくらいあるかをあらわす

例) 何にお金を使っているかみてみよう

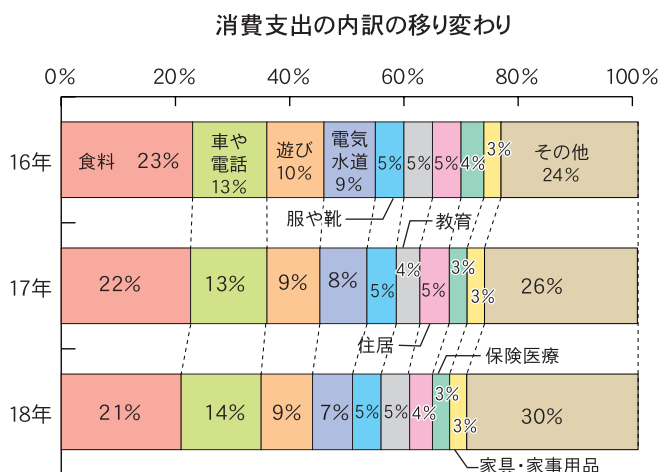


出典: 家計調査

④ 帯グラフ

全体の中でどれくらいあるかを時間や分類で比べる

例) お金の使い方の変化をみてみよう



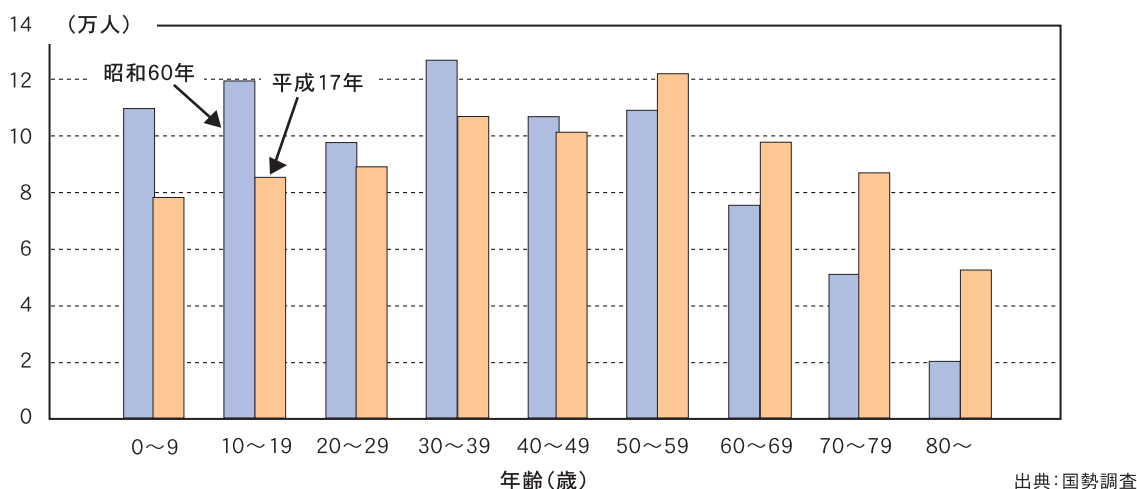
出典: 家計調査

どちらのグラフが分かりやすいかな？

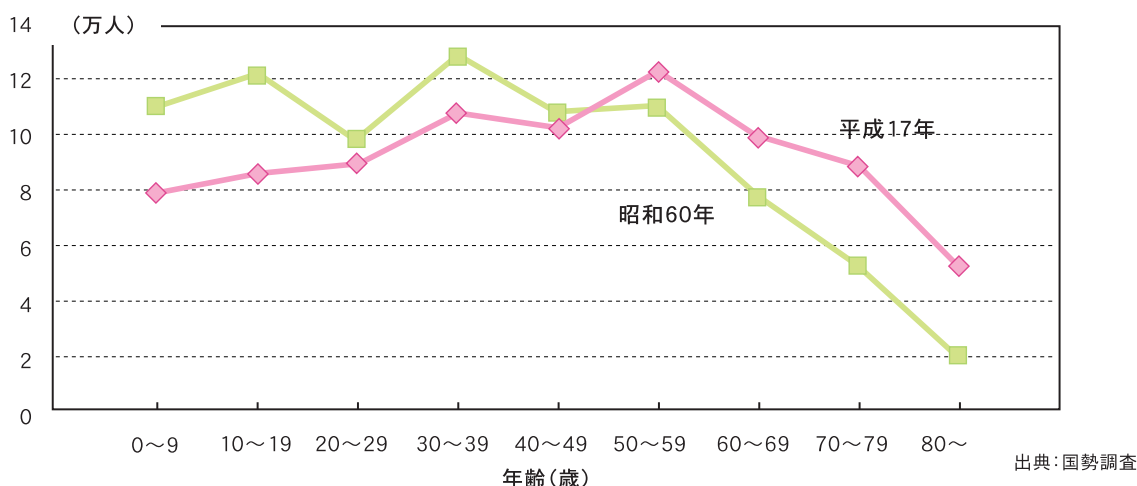
次は質問に挑戦！

①、②のグラフは両方とも、同じ値(昭和60年と平成17年の福井県の年齢毎の人口 国勢調査)をグラフにしたものです。どちらのグラフが分かりやすいと思うかな？

① 棒グラフ



② 折れ線グラフ



①の棒グラフは、昭和60年と平成17年のグラフが交互に並んでいるので、それぞれの形がどうなっているのか、少しみづらくなっています。

②の折れ線グラフでは、60年と17年のグラフがそれぞれ一本の線で結ばれているので、形が分かりやすくなっています。また、60年と17年の年齢毎の人口を比べる場合も、多い年が上、少ない年は下というように、分かりやすいですね。

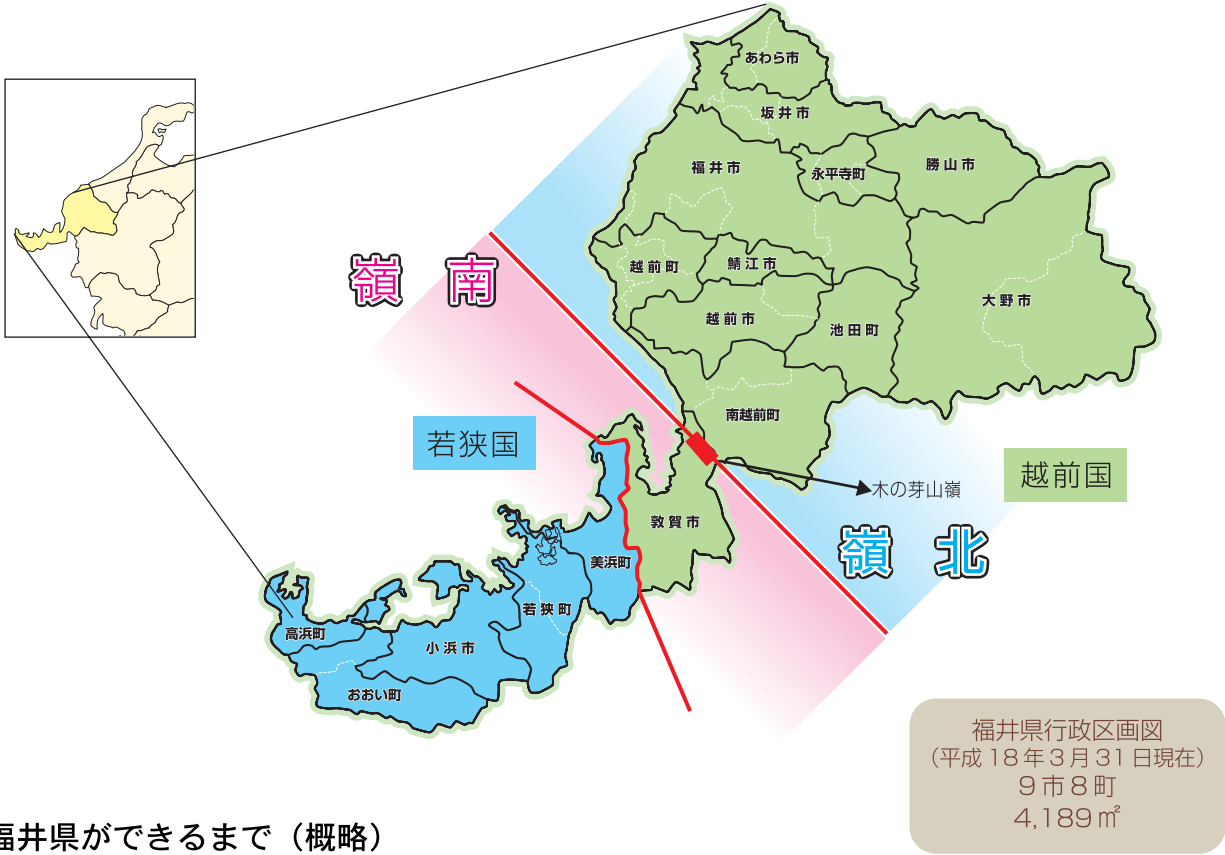
福井県のあらまし

福井県の位置と行政区画

福井県は、本州日本海側のほぼ中央にあって、石川県、岐阜県、滋賀県および京都府の4府県に接しています。敦賀市東部の木の芽山嶺を境として、北を嶺北、南を嶺南と呼んでいます。

福井県は、昔の越前国と若狭国からなります。その境域については、白山の山頂および山麓牛首郷は古来越前国大野郡に属していましたが、藩政時代からその所属をめぐり加賀藩との間に争いがあり、明治５年の政府の裁定により石川県所属に決定しました。

また、大野郡石徹白村は、昭和 33 年に三面、小谷堂を除き岐阜県白鳥町に越県合併しました。



●福井県ができるまで（概略）

越前国	幕府領		明治3年 12月22日 本保県		明治4年 11月20日 福井県	明治4年 12月20日 改称 足羽県	明治6年 1月14日 敦賀県	明治9年 8月21日 石川県 (嶺北7郡)	明治14年 2月7日 福井県	明治23年 5月17日 府県制公布
	福井藩 [320,000石]		明治4年 7月14日 福井県							
	丸岡藩 [50,000石]		7月14日 丸岡県							
	大野藩 [40,000石]		7月14日 大野県							
	勝山藩 [22,000石]		7月14日 勝山県							
	鯖江藩 [40,000石]		7月14日 鯖江県							
	敦賀藩 [10,000石]	明治3年 3月19日改称 鞠山藩	9月27日 小浜藩	7月14日 小浜県	11月20日 敦賀県	8月21日 滋賀県 (嶺南4郡)				
小浜藩 [103,500石]										

● 福井県の市町村数の変遷

年・月	福井県の市町村数				全国の市町村数	備考
	市	町	村	計		
明治21年	0	248	1,742	1,990	71,314	
《明治の大合併》 教育、徴税、土木、戸籍等の行政を行うのに適した人口規模にするため、約300～500戸を標準規模として、全国的に実施された町村合併。						
明治22年末	1	9	168	178	15,859	市制町村制施行
昭和22年 5月	2	17	151	170	10,499	地方自治法施行
昭和28年10月	4	18	128	150	9,868	町村合併促進法施行
《昭和の大合併》 戦後、市町村の事務とされた新制中学校の設置管理を行うのに適した人口規模にするため、概ね8000人を標準とし、町村数を約3分の1に減少することを目的として、全国的に実施された市町村合併。						
昭和36年 6月	7	21	13	41	3,742	
昭和46年 9月	7	22	6	35		
《平成の大合併》 住民の日常生活圏の広域化や地方分権の進展に必要な行財政基盤の強化を図るため、全国的に実施された市町村合併。						
平成18年3月末	9	8	0	17	1,821	

資料：福井県市町村課

【福井のあゆみ】

西暦	和年号	
507		越前坂井に育った継体天皇が即位。（『日本書紀』）
1243	寛元 1	道元、越前志比庄に来る。翌年、大仏寺（後の永平寺）を創建する。
1471	文明 3	朝倉孝景、越前守護となる。本願寺蓮如、吉崎に道場を建てる。
1574	天正 2	越前一向一揆が蜂起する。
1774	安永 3	小浜藩医杉田玄白ら『解体新書』を出版する。
1858	安政 5	橋本左内、福井藩主松平慶永の命を受け上京。
1899	明治 32	敦賀港が外国貿易港に指定される。
1932	昭和 7	福井市に世界初の人絹取引所が開設される。
1945	昭和 20	福井、敦賀に空襲。
1948	昭和 23	福井地震。全壊家屋33,000余戸。死者3,800余人。
1962	昭和 37	北陸トンネル開通する。（全長13.87km）
1968	昭和 43	福井国体開催される。
1969	昭和 44	日本原電敦賀発電所で臨界式。
1992	平成 4	福井県立大学が開学する。
2004	平成 16	福井豪雨災害おこる。

【福井藩の石高の変遷】

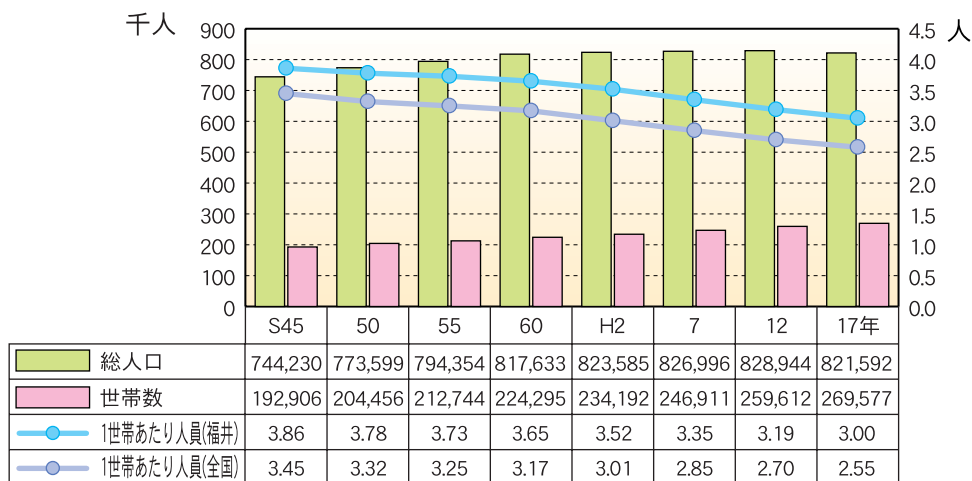
西暦	和年号	石 高
1600	慶長 5	結城秀康、越前国68万石に封ぜられる。
1624	寛永 1	越後高田城主松平忠昌（秀康三男）、50万5千石に封ぜられる。
1686	貞享 3	6代藩主松平綱昌、病気のため領地没収。5代藩主昌親が新知25万石で再封。
1749	寛延 2	一橋家から重昌30万石で襲封。
1818	文政 1	2万石加増され32万石。

人口・世帯

★1世帯当たりの人員は3.00人で全国2位です★

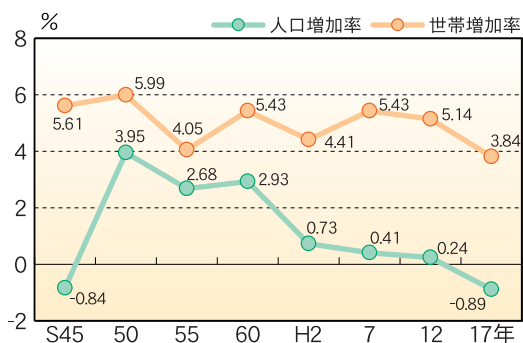
- 福井県の人口は、平成17年10月1日現在821,592人、世帯数が269,577世帯となっています（平成17年国勢調査）。1世帯当たりの人員は3.00人で、出生率の低下や単独世帯の増加の影響などで、年々縮小していますが、全国平均と比較すると約0.5人多く、山形県(3.09人)に次いで、全国2位となっています。
- 人口増加率は、平成に入ってから伸びが鈍化し、平成12年以降はマイナスになっています。合計特殊出生率※は、昭和55年以降低下が続いていましたが、平成17年に0.05ポイント上昇しました。しかし、人口を維持するのに必要とされる2.08を大きく下回っています。
- 昭和61年から出生数の減少傾向、昭和63年から死亡数の増加傾向が続いており、平成16年には戦後初めて死亡数が出生数を上回り、自然増減数が減少に転じています。

人口と世帯の推移



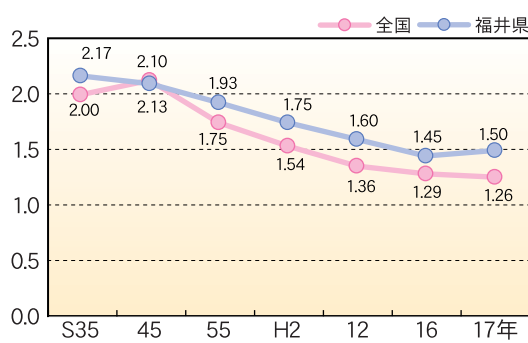
資料：国勢調査報告（総務省）

5年ごとの人口・世帯増加率の推移



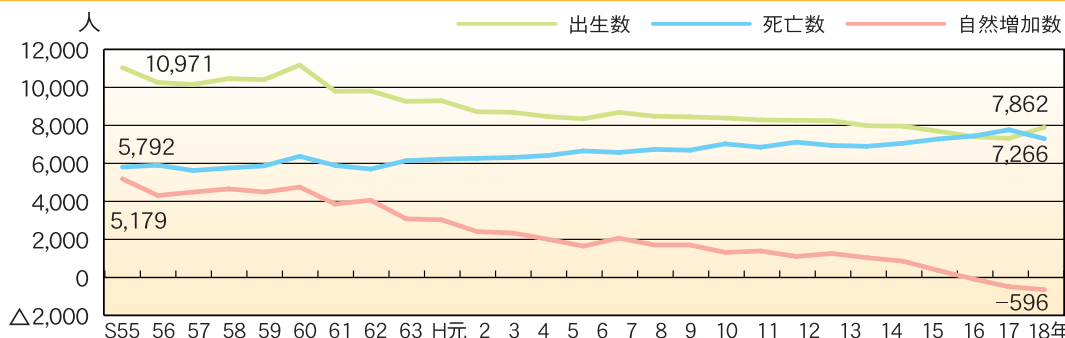
資料：国勢調査報告（総務省）

合計特殊出生率の推移



資料：人口動態統計（厚生労働省）

出生・死亡数および自然増加数の推移



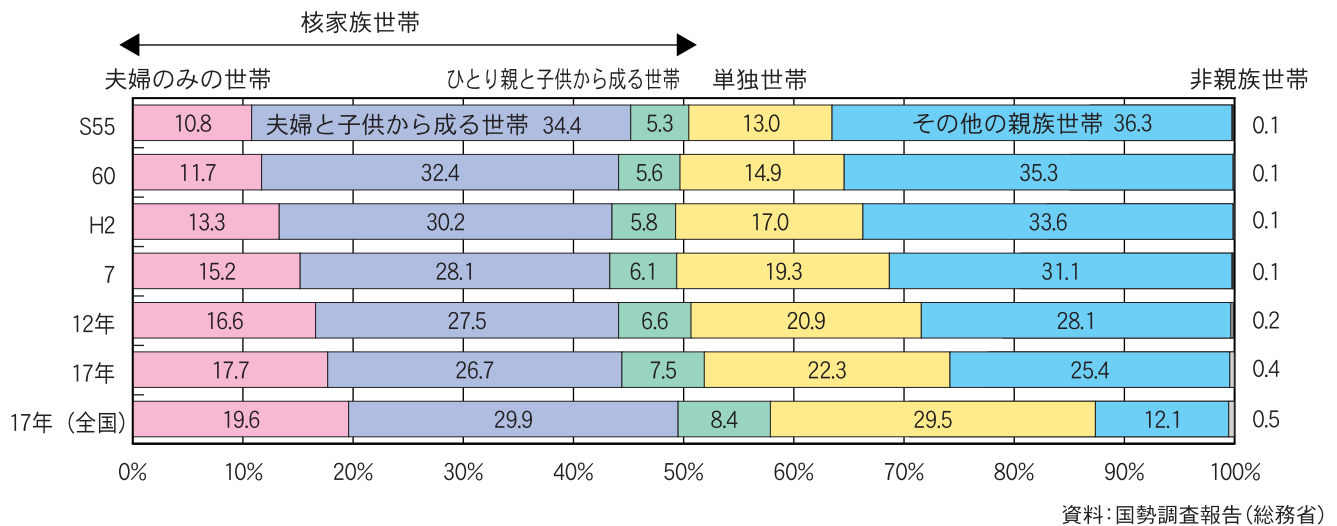
資料：福井県の推計人口（福井県政策統計課）

※合計特殊出生率

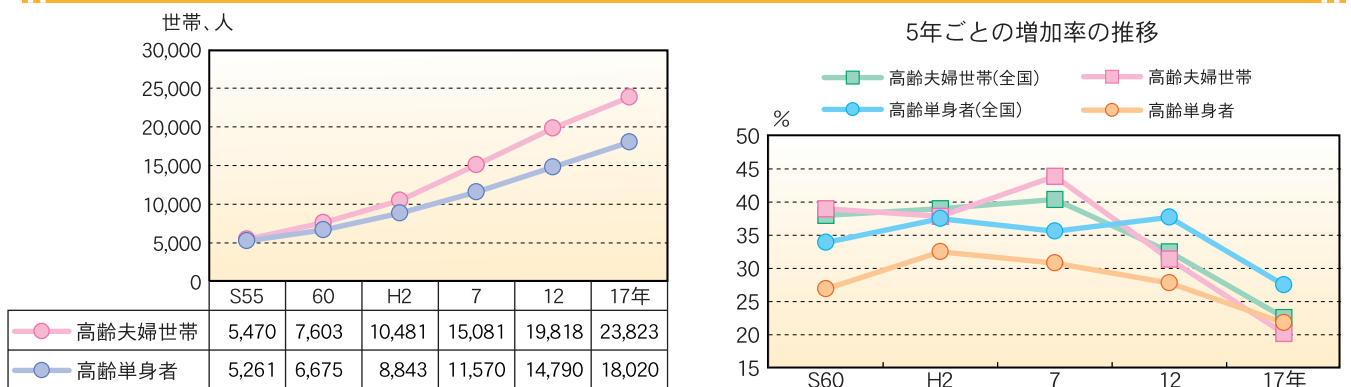
15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとした場合の子供の数に相当する。

- 福井県の世帯構成の変化を時系列でみると、「単独世帯」および「夫婦のみの世帯」が増加しており、その中でも特に高齢化を反映して高齢単身者および高齢夫婦世帯が増加していますが、本県の高齢単身者の増加率は、全国平均より低い水準にあります。
- 一方、「その他の親族世帯」が25.4%で全国平均より13.3ポイントも高くなっていますが、これは3世代世帯が多いことが原因です。
- 本県の外国人登録者数は、中国が増加を続けており、平成13年にはブラジルを、平成16年には「韓国または朝鮮」を抜いて1位になっています。

一般世帯の家族類型別割合の推移



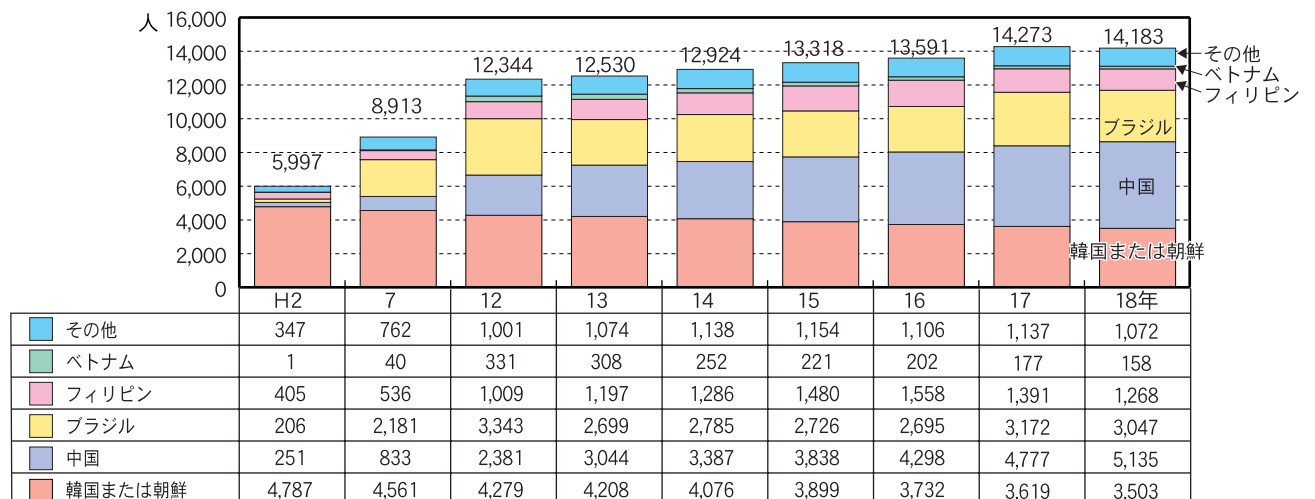
高齢夫婦世帯および高齢単身者（65歳以上）の推移



※ 高齢夫婦世帯とは、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの一般世帯をいう。

資料：国勢調査報告（総務省）

外国人登録者数の推移

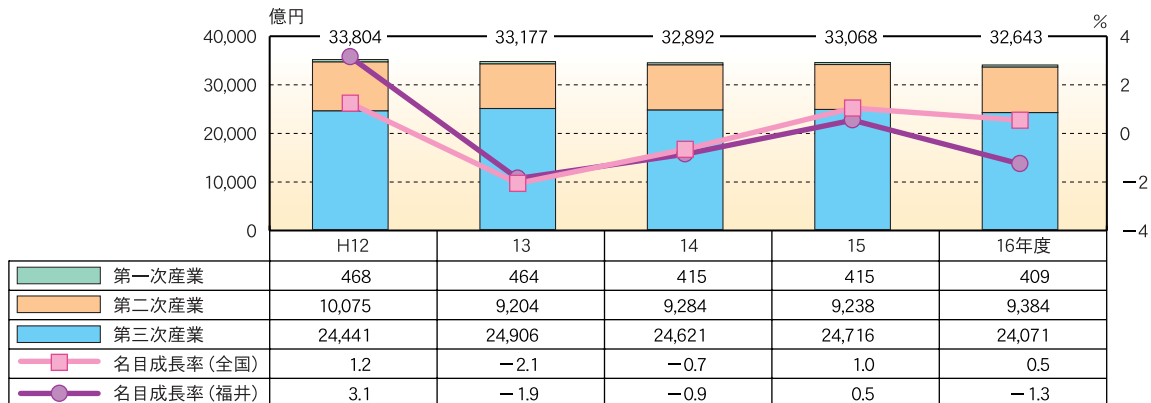


経 済

★1人当たり県民所得は283万2千円で全国15位です★

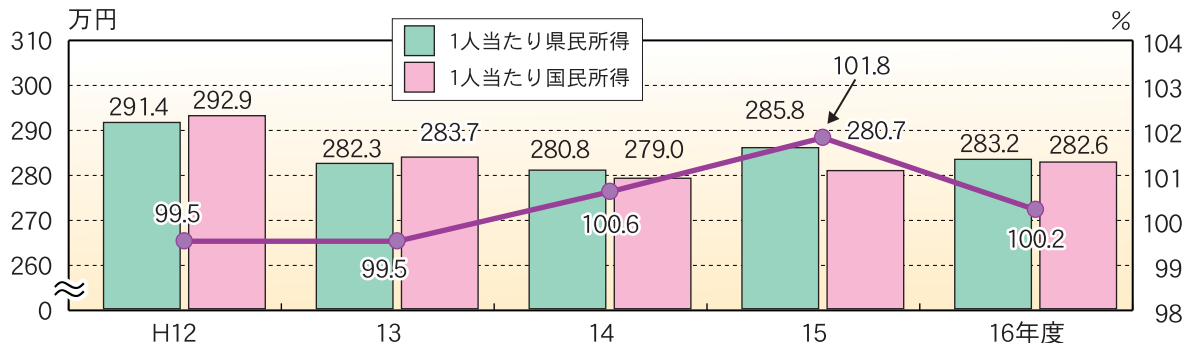
- 福井県の県内総生産額※1は、近年3兆3千億円前後で推移しています。1人当たり県民所得※2は、平成14年度以降、1人当たり国民所得を上回っています。
- 総生産額の産業別構成比の推移をみると、製造業の割合が一貫して最も高くなっていますが、その割合は約20%であり変化はありません。一方、次いで構成比の高いサービス業は増加傾向にあり、平成16年度は17.5%となっています。本県の特徴として、電気・ガス・水道業の割合が非常に高く、国の割合の約4倍となっています。
- 事業所と従業員数の産業別構成比をみると、ともに全国に比べて製造業や建設業の割合が高くなっています。

県内総生産額の推移、名目成長率の推移



資料：平成16年度福井県民経済計算（福井県政策統計課）

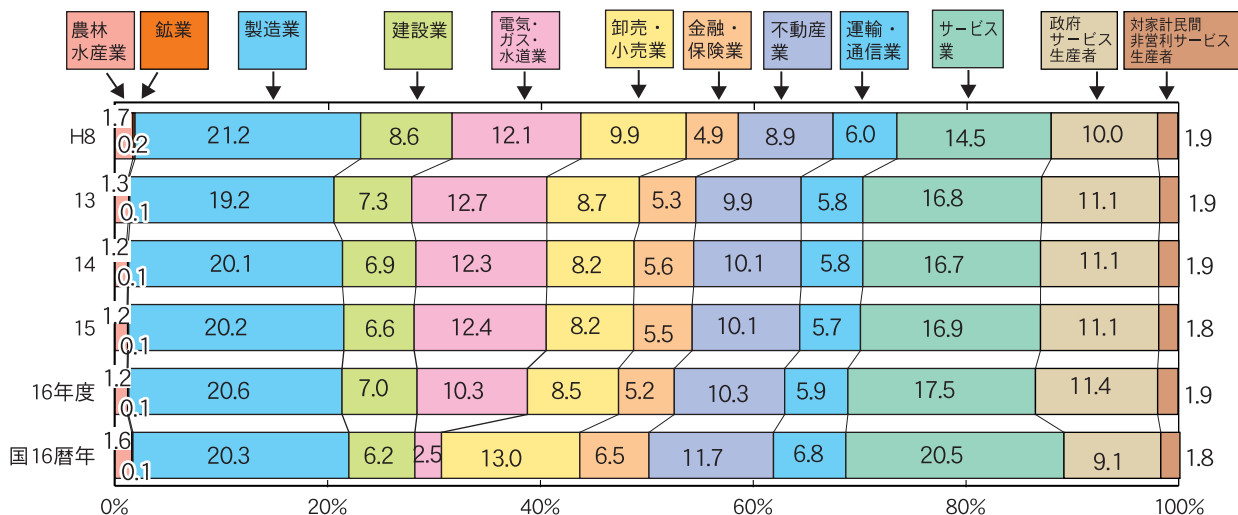
一人当たり県民所得の推移



※ 折れ線グラフは、1人当たり国民所得を100とした場合の1人当たり県民所得の水準

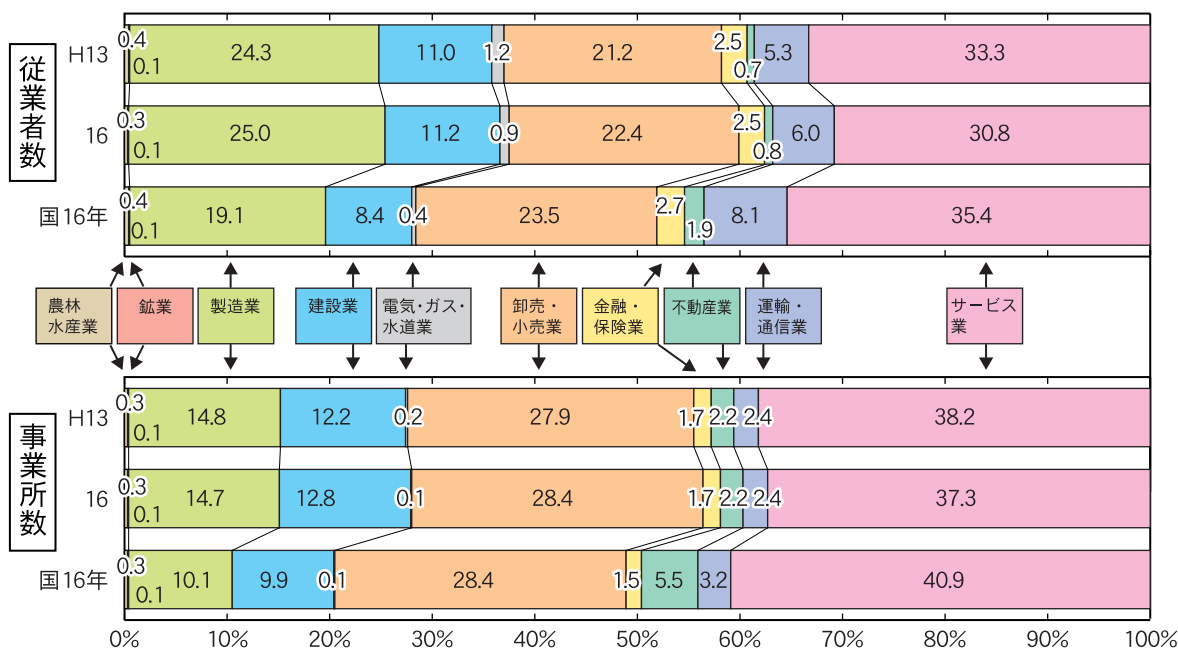
資料：平成16年度福井県民経済計算（福井県政策統計課）

総生産額の産業別構成比の推移(付加価値ベース)



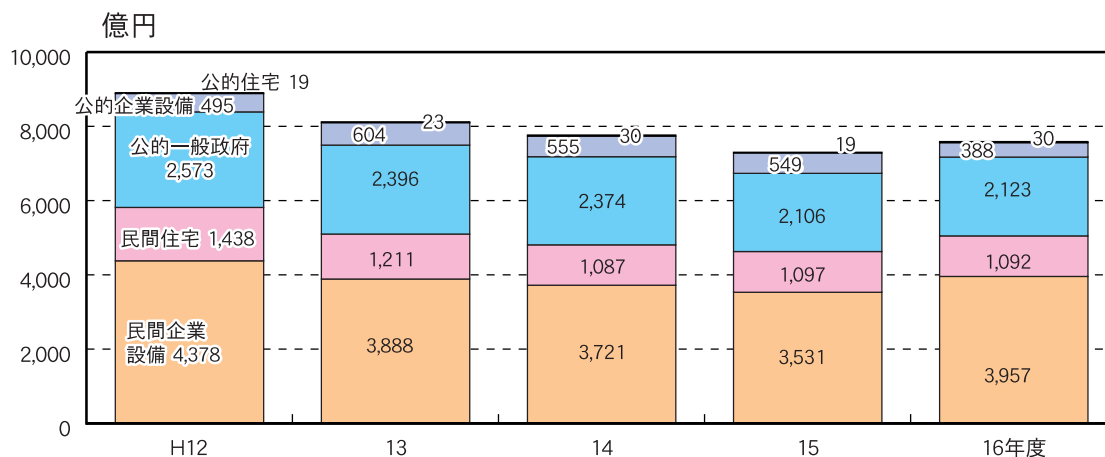
資料：平成16年度福井県民経済計算（福井県政策統計課）

従業員数と事業所数の産業別構成(民営)



資料：事業所・企業統計（総務省）

福井県の総固定資本形成※3の推移



資料：平成16年度福井県民経済計算（福井県政策統計課）

◆コラム◆ 世界的にみた福井県の位置(2004年 各国は暦年、福井県は年度値)

2004年の1人当たり国内(県内)総生産(名目)をOECD諸国(30か国)と比較すると、本県は日本やイギリスより高く、オランダの次に位置します。

総生産の額自体をみると、本県はルクセンブルクと同じくらいの額になっています。

順位	国名	一人当たり国内総生産 (名目GDP)(米ドル)	国内総生産 (名目GDP)(10億米ドル)
1	ルクセンブルク	70,499	31.9
2	ノルウェー	55,269	253.7
3	スイス	47,923	358.6
7	アメリカ合衆国	39,732	11,679.2
8	スウェーデン	38,931	350.1
9	オランダ	37,285	606.7
	福井県	36,827	30.4
10	オーストリア	36,004	294.3
11	日本	35,922	4,588.2
12	イギリス	35,616	2,131.1
24	韓国	14,136	679.7
30	トルコ	4,207	302.0

※1ドル=107.49円(2004年度平均の対米ドルレート)で換算

資料：国民経済計算年報平成18年版(内閣府)

※1 県内総生産

県内にある事業所で1年間に生産された合計額からかかった費用を差し引いたものをいう。

※2 県民所得

雇用者報酬(給料・退職金など)、財産所得(利子・賃貸料・配当)、企業所得(経常利益)を合計したものをいう。

※3 総固定資本形成

個人や一般政府、民間法人などが新規に購入した資産で、主に住宅や建物、機械設備などをいう。

農林水産業

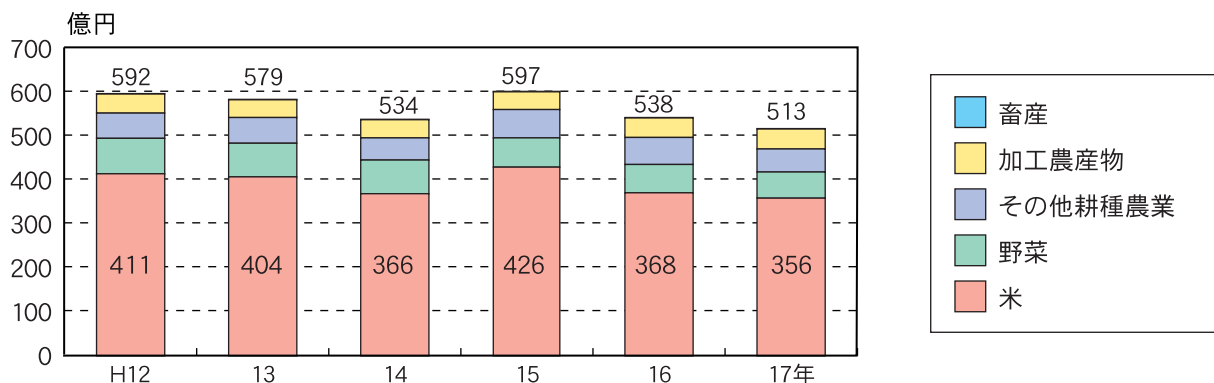
★コシヒカリが水稻作付面積の約7割を占めています★

■福井県の農業産出額は平成15年に増加したものの、近年減少傾向にあります。農業産出額に占める米の割合が高いのが福井県の特徴です。農家数および農業従事者数が年々減少している中で、農業の担い手となる認定農業者数※は増加しています。

■本県の樹種別素材生産量はスギが1番多く、また県産木材の利用率は増加傾向にあります。

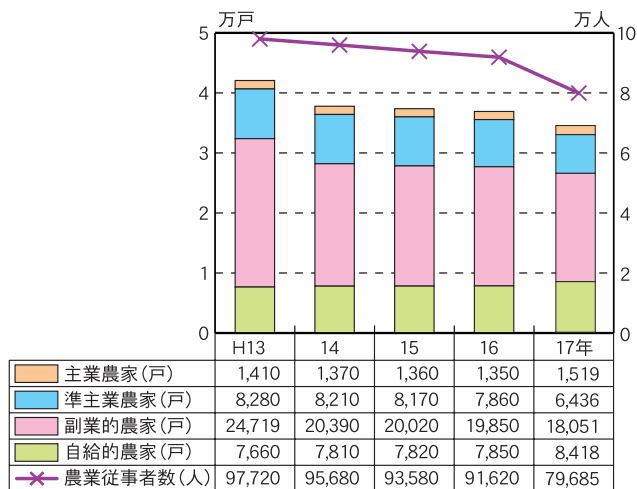
■本県の漁獲量を魚種別にみると、平成17年はイカ類が最も多くなり、次いでアジ類、ブリ類の順になっています。「越前ガニ」の名で有名なズワイガニの漁獲量は平成15年から減少傾向にあります。

農業産出額の推移



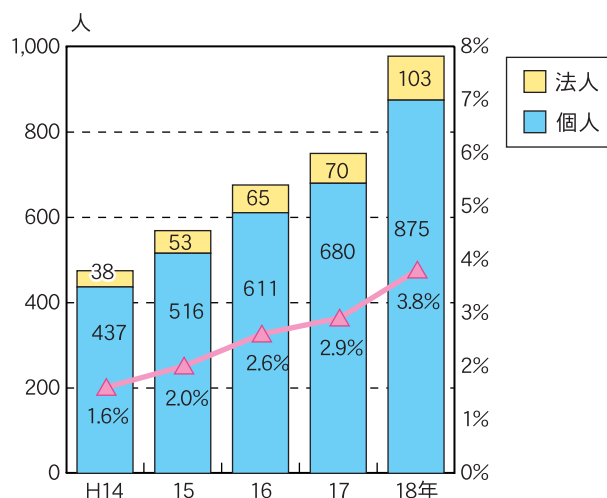
資料：福井農林水産統計年報（北陸農政局福井統計・情報センター）

農家数および農業従事者数の推移



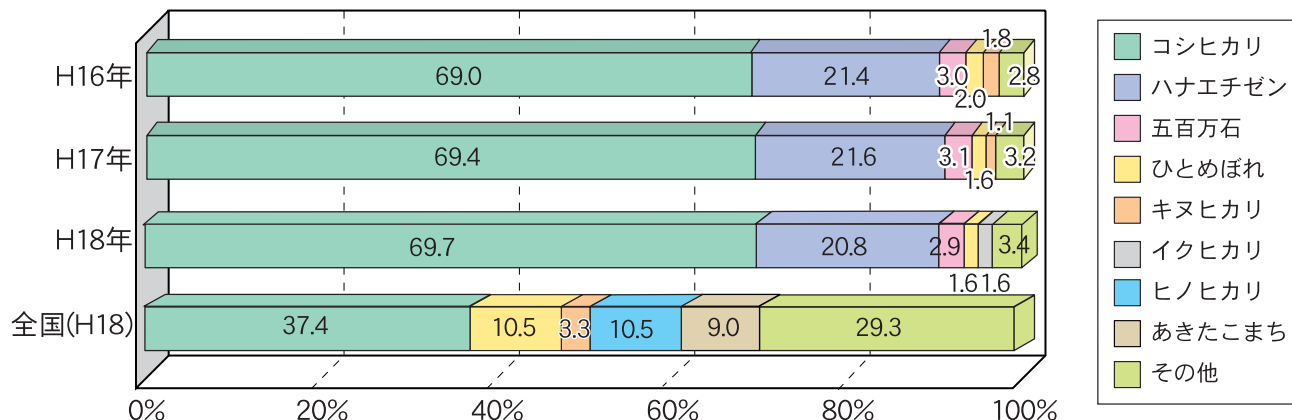
資料：福井農林水産統計年報（北陸農政局福井統計・情報センター）

認定農業者数および割合の推移



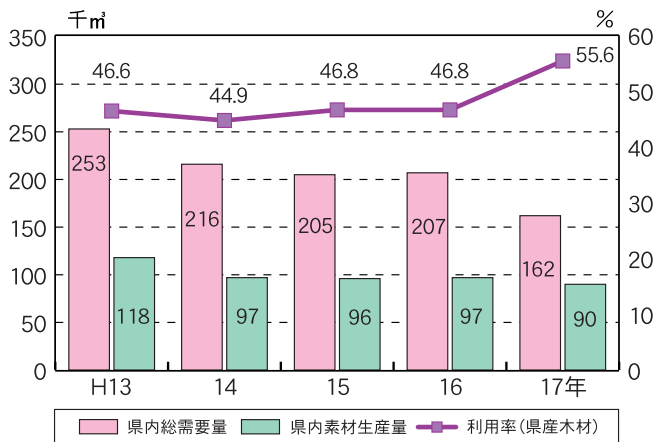
資料：福井県農業技術経営課

水稻品種別作付面積割合の推移



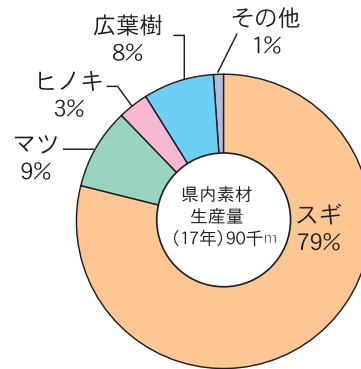
資料：福井作物統計（北陸農政局福井統計・情報センター）

木材の県内総需要量と県内素材生産量およびその割合の推移



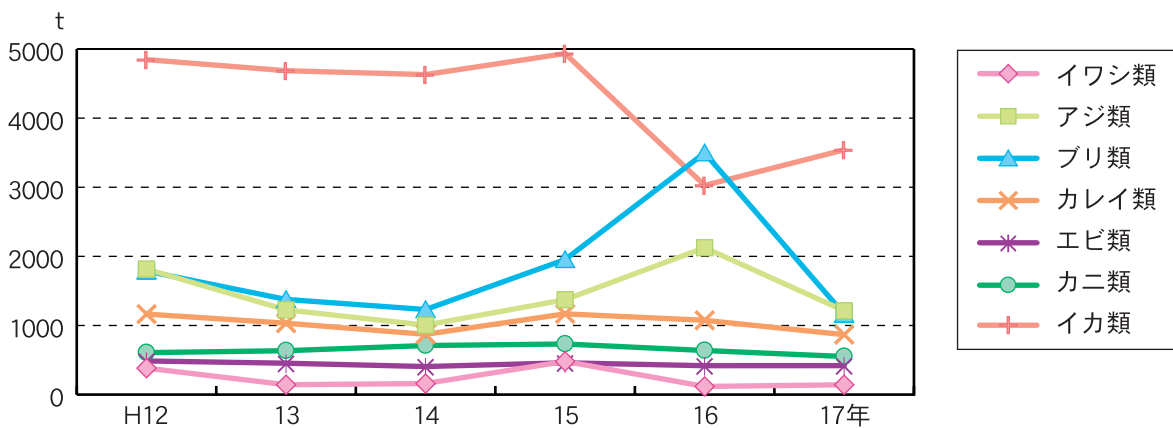
資料：福井農林水産統計年報（北陸農政局福井統計・情報センター）

樹種別素材生産量



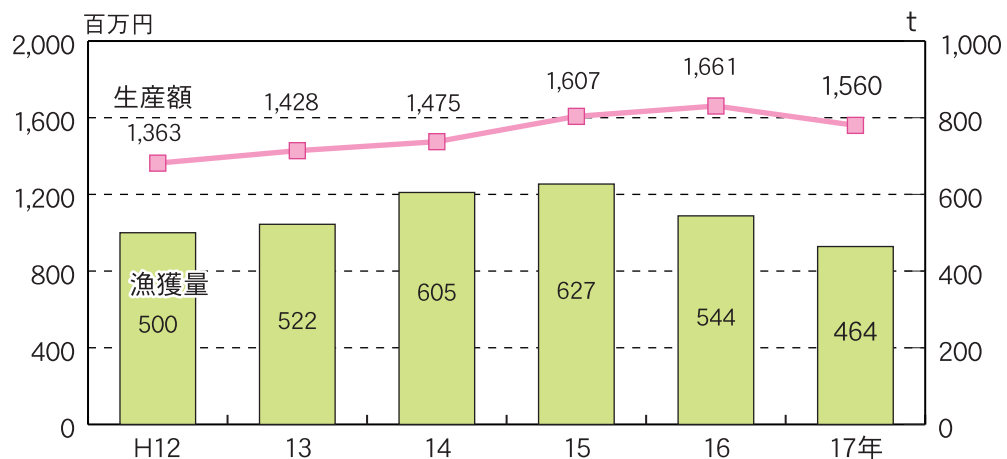
資料：木材需給報告書（農林水産省）

魚種別漁獲量の推移



資料：福井県漁業の動き（北陸農政局福井統計・情報センター）

ズワイガニの漁獲量と生産額の推移



資料：福井県漁業の動き（北陸農政局福井統計・情報センター）

◆コラム◆ イクヒカリ誕生

コシヒカリは、昭和31年に福井県で誕生した品種で、作付面積は全国の稲の作付面積の約40%を占め、昭和54年以来作付面積日本一を誇っています。

このコシヒカリのひ孫である「イクヒカリ」が、平成16年に福井県農業試験場で誕生し注目を集めています。”幾（イク）久しく光（ヒカリ）輝く”米になることを願って命名されたイクヒカリ。倒伏しにくく、さめてもおいしいと好評のようです。平成18年の県内作付面積は1.6%となっています。

<参考> 旬の里ふくい

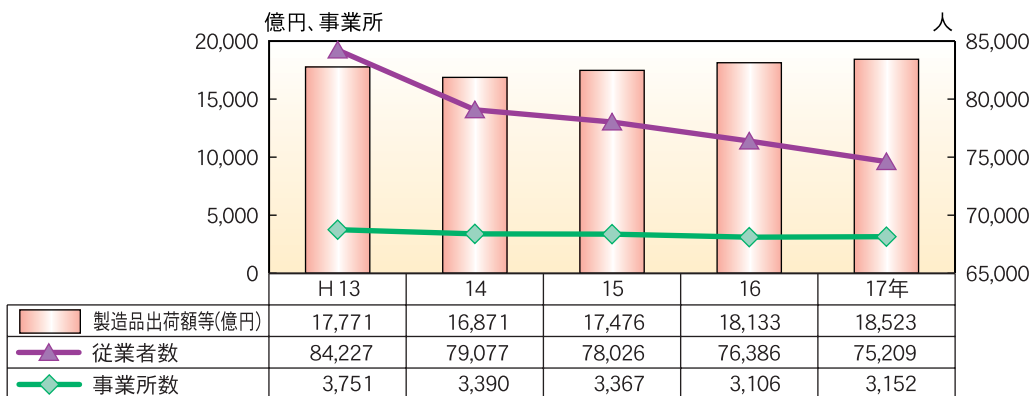
<http://info.pref.fukui.jp/hanbai/syunfile/index.html>

工業

★眼鏡枠の出荷額は全国シェア96%を占めています★

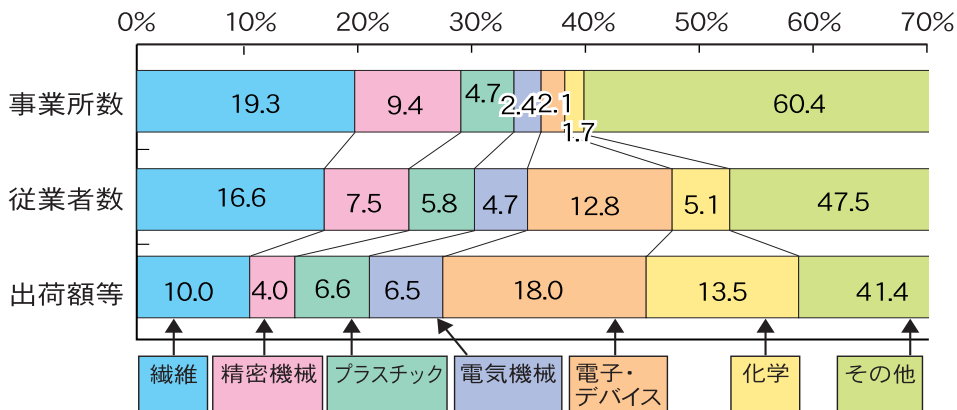
- 福井県の工業では、従業員4人以上の事業所数は平成17年12月31日現在で3,152事業所となり、前年に比べ増加しました。従業者数は7万5,209人で、減少傾向にあります。製造品出荷額等は1兆8,523億円で、3年連続で増加しています。
- 産業中分類別に事業所数、従業員数をみると、繊維がそれぞれ19.3%、16.6%と最も多く、また眼鏡を含む精密機械もそれぞれ9.4%、7.5%となっており、伝統産業が地域経済を支えています。なお、製造品出荷額等が最も多いのは、コンデンサなどの電子・デバイスで18.0%を占めています。
- 工場立地件数は、平成17年に31件にのぼり、1,100名を超える雇用が生み出されています。

従業員4人以上の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移



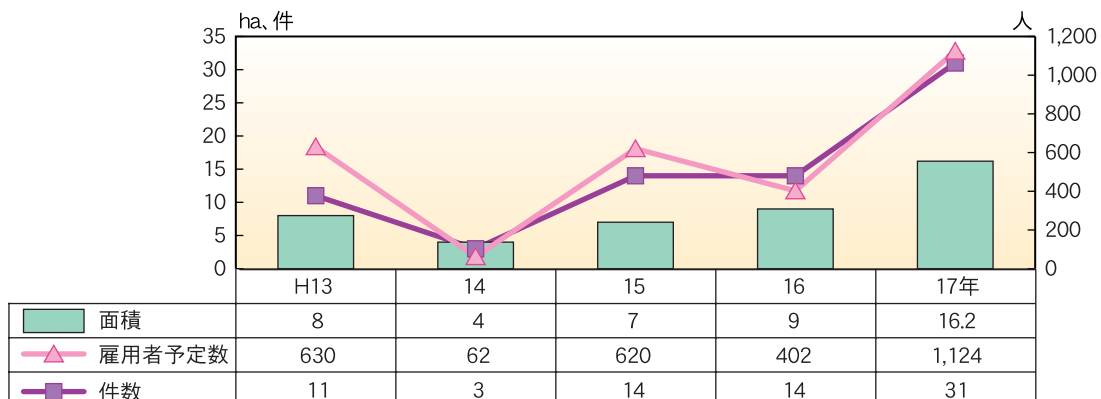
資料：H17 工業統計調査結果（福井県政策統計課）

従業員4人以上の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の構成(平成17年)



資料：H17 工業統計調査結果（福井県政策統計課）

福井県の工場立地件数、雇用予定者数、面積の推移



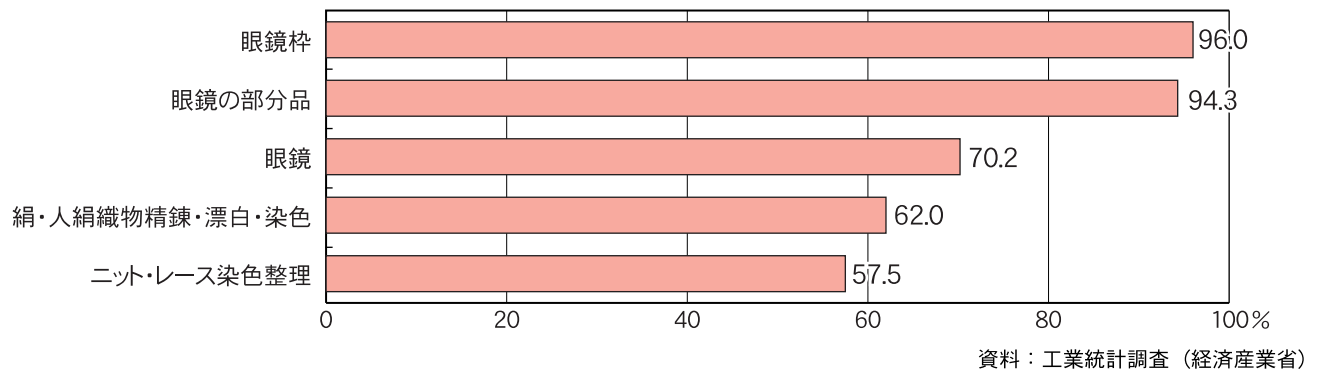
資料：工場立地動向調査（経済産業省）

■福井県は眼鏡や繊維といった地場産業が盛んで、眼鏡は、眼鏡枠が全国シェア96.0%、眼鏡の部分品も94.3%を占めています。また、繊維にはリボン、織マークなどの細幅織物や編レース生地、ポリエステル長繊維織物など全国1位の製品が数多くあります。

■本県では伝統的工芸品※2として、越前焼、越前漆器、若狭塗、越前打刃物、越前和紙、若狭めのう細工の6品目が国の指定を受けています。

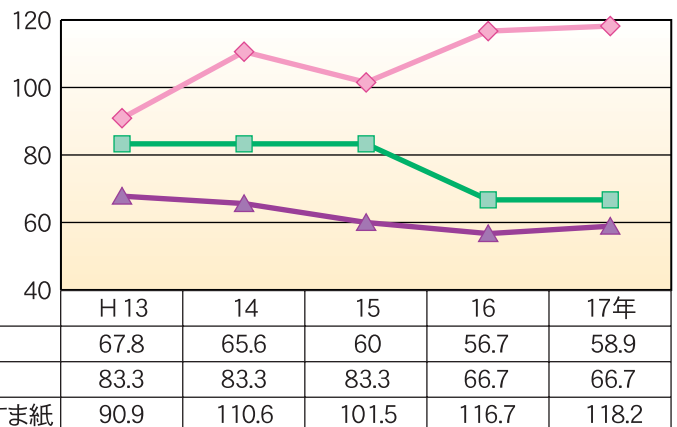
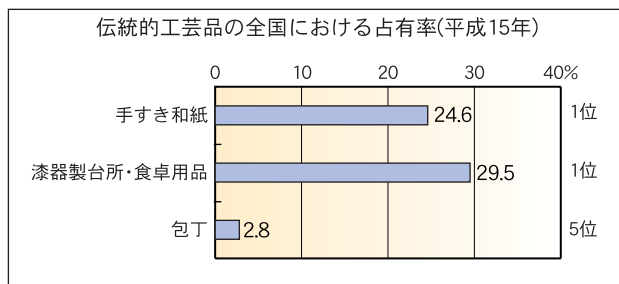
■市町別では、事業所数、従業者数で福井市が、製造品出荷額等で越前市が最も多くなっています。

全国における占有率※1《全国1位の製造品》(平成15年)



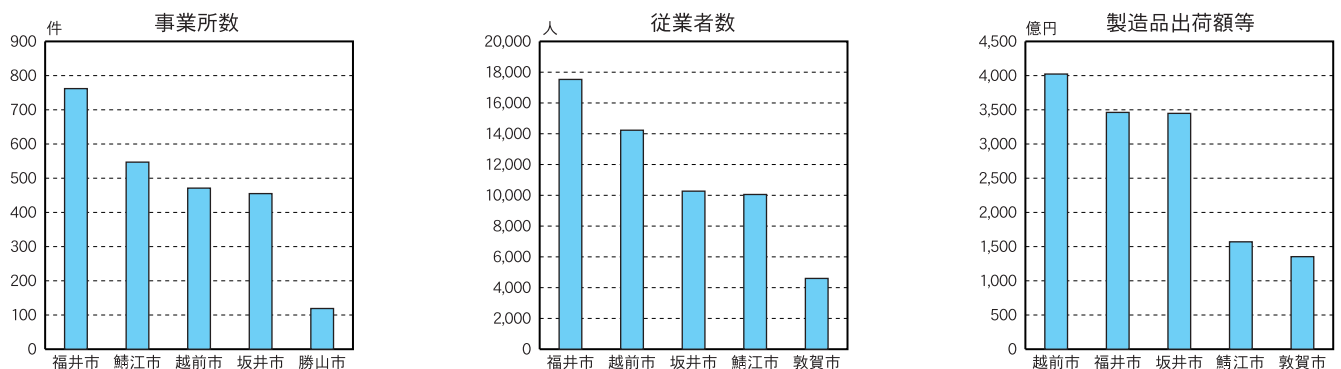
福井県の伝統的工芸品

伝統的工芸品の出荷額推移(従業員4人以上の事務所, 12年=100)



資料：工業統計調査結果（福井県政策統計課）

従業員4人以上の市町別事業所数、従業者数、製造品出荷額等《上位5市町》(平成17年)



※ 市町村合併に伴い、調査時の市町村を平成18年4月1日現在の市町に組み替えて集計した。

資料：H17 工業統計調査結果（福井県政策統計課）

※1 占有率 製造品出荷額に占める割合(従業員4人以上の事業所)
 ※2 伝統的工芸品 「伝統的工芸品産業の振興に関する法律(伝産法)」に基づき、経済産業大臣が指定するもので、平成17年9月現在で全国に207品目ある。

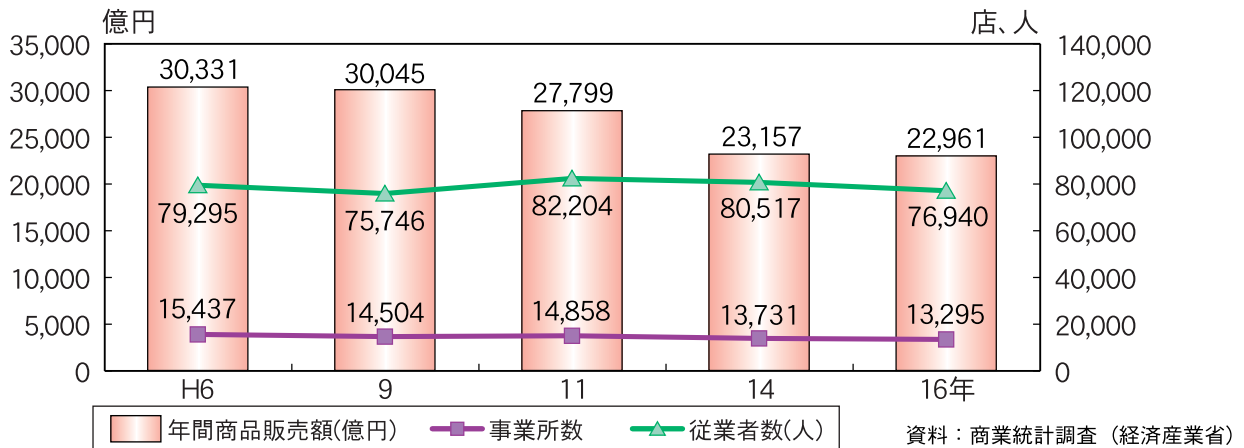
商 業

★ロードサイド型店舗の割合が高くなっています★

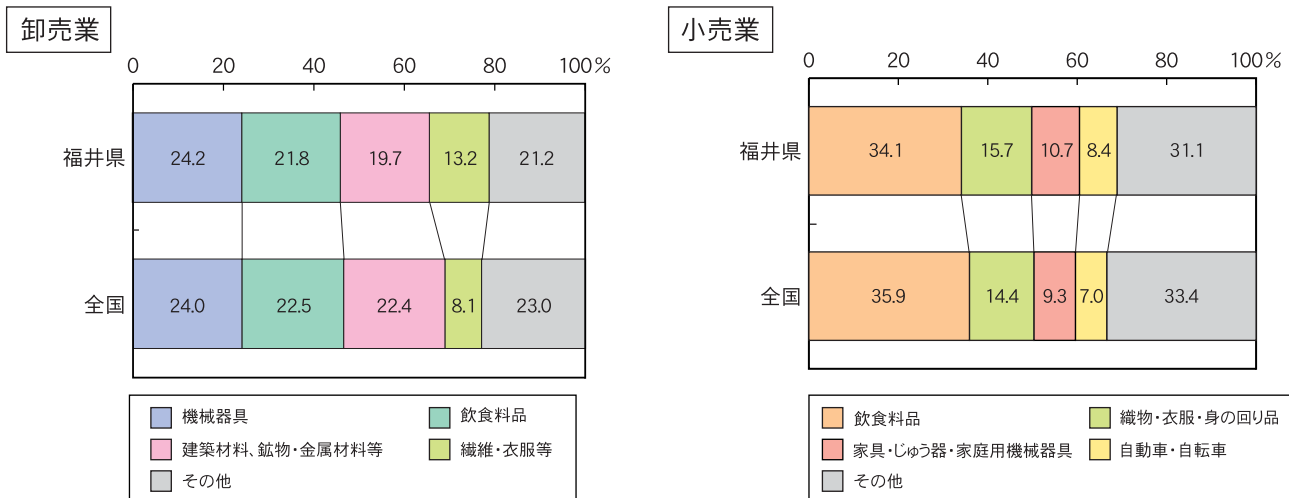
■福井県の商業では、平成16年6月1日現在の事業所数は13,295事業所、従業者数は7万6,940人、年間商品販売額は2兆2,961億円と平成14年調査に比べそれぞれ3.2%、4.4%、0.8%減少しました。

■卸売業と小売業に分けてみると、事業所数は、卸売業では機械器具が、小売業では飲食料品がそれぞれ24.2%、34.1%を占め、最も多くなっています。

事業所数、従業者数、年間商品販売額の推移

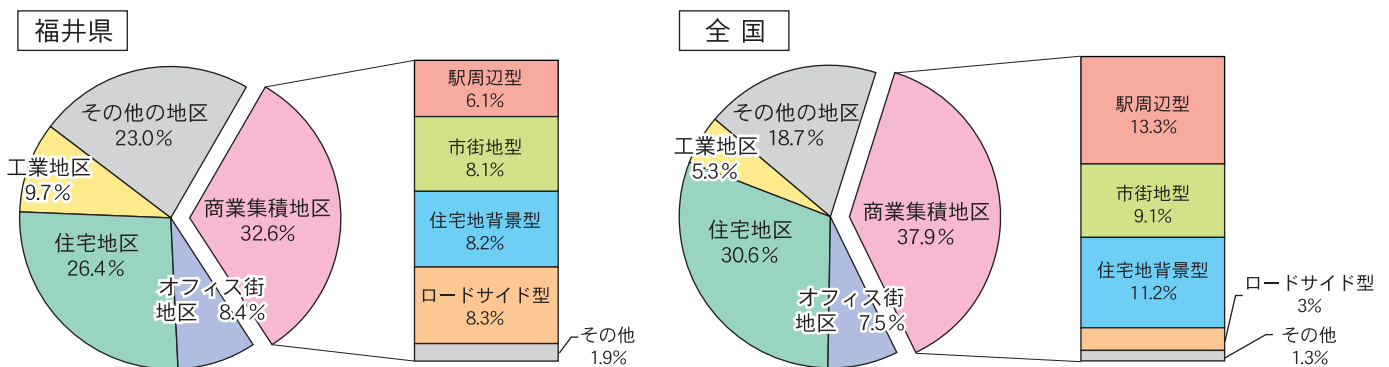


産業中分類別事業所数割合(平成16年)



資料：商業統計調査（経済産業省）

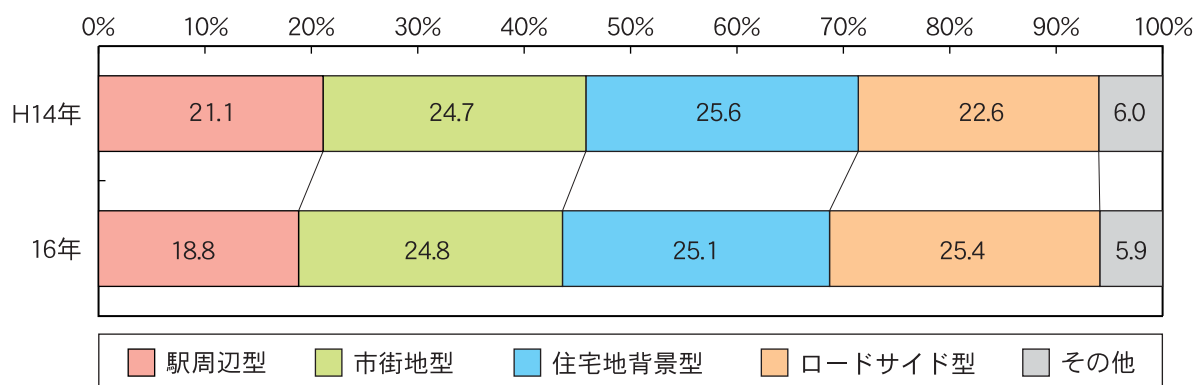
立地環境別※1事業所数の割合 平成16年



資料：商業統計調査（経済産業省）

- 平成14年調査と16年調査を比較すると、主要幹線道路沿い(ロードサイド)に立地する事業所の割合が増加し、駅周辺や市街地の事業所の割合は減少しています。
- 中心市街地※3では年間商品販売額、売場面積ともに減少する一方、幹線道路沿い(ロードサイド)では年間商品販売額、売場面積ともに増加しており、中心市街地の空洞化と、幹線道路沿いへの店舗展開を反映しています。

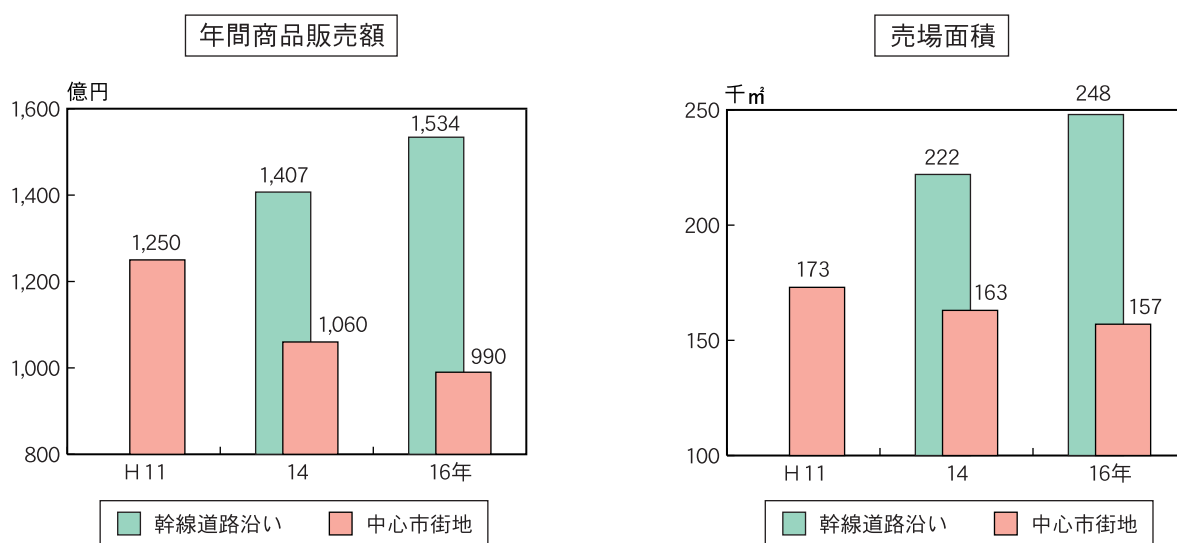
商業集積地区(細分別)※2の事業所数推移



資料：商業統計調査（経済産業省）

中心市街地、幹線道路沿いの年間商品販売額、売場面積の推移

《幹線道路沿い(ロードサイド)は平成14年に地区の見直しを行ったため、それ以前の集計と比較できない》



資料：商業統計調査（経済産業省）《再集計》

※1 立地環境区分および定義

商業集積地区	商業地域および近隣商業地域で、商店街を形成している地域（一商店街を一商業集積地区とする）
オフィス街地区	商業地域および近隣商業地域で、上記商業集積地区の対象とならない地域
住宅地区	住宅専用地域、中高層住宅専用地域、および住宅地域、準住宅地域
工業地区	工業専用地域、工業地域および準工業地域
その他	上記のいずれにも該当しない地域

※2 商業集積地区細分別定義

駅周辺型	JRや私鉄の駅周辺（路面電車を除く）に立地
市街地型	都市の中心部にある繁華街や、オフィス街（駅周辺を除く）に立地
住宅地背景型	住宅地を後背地とし、主にそこに居住する人が消費者となる地区に立地
ロードサイド型	国道あるいはそれに準ずる主要道路の沿線を中心に立地
その他	上記に該当しない地区、または観光地、神社・仏閣周辺も含む

※3 中心市街地

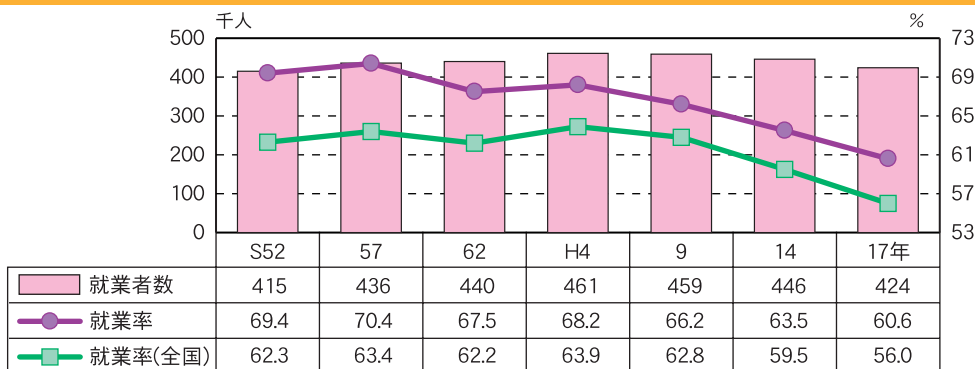
「中心市街地における市街化整備改善および商業等の活性化の一体化に関する法律」で基本計画に位置付けられたエリアを含んでいる商業統計上の調査区を独自に集計したもの
 （該当調査区を含む市町…福井市、敦賀市、越前市、鯖江市、小浜市、坂井市（旧丸岡町）、若狹町（旧三方町）

労働

★完全失業率は2.3%で3年連続全国トップクラスとなっています★

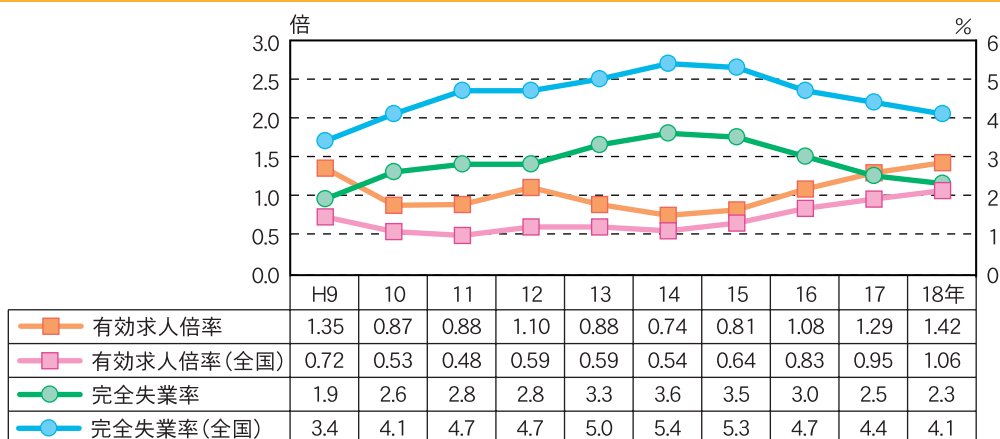
- 平成17年10月1日現在における就業者※1は424千人(男237千人、女187千人)で、就業率※2は男性が70.8%、女性が51.3%でした。男女合計の就業率(60.6%)と女性の就業率は、全国1位となっています。
- 有効求人倍率は平成15年以降上昇しており、平成18年は1.42倍で、全国平均より0.36ポイント高くなっています。
- 完全失業率も平成15年以降改善しており、平成17年は2.5%で全国2位、平成18年は2.3%で全国1位となっています。

就業者数および率の推移



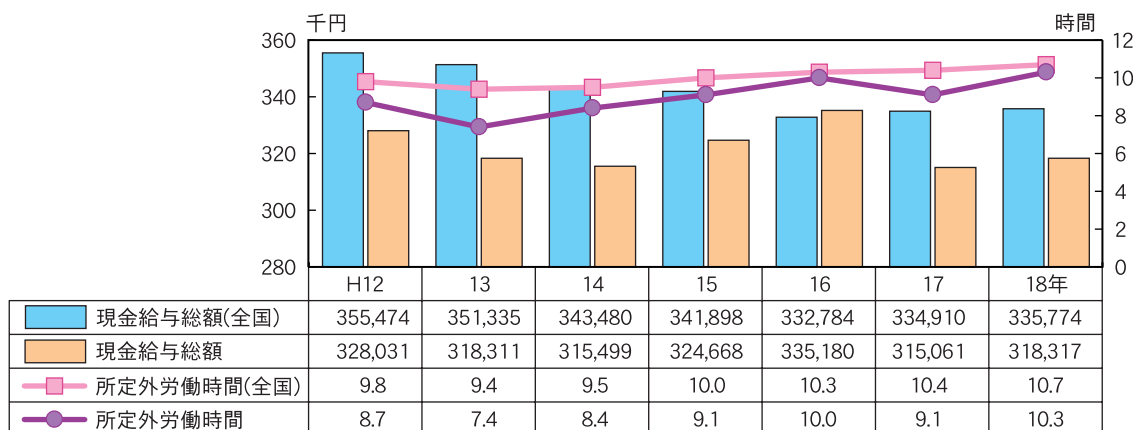
資料：就業構造基本調査報告（総務省）
17国勢調査報告（総務省）

有効求人倍率と完全失業率の推移



資料：一般職業紹介状況（厚生労働省）、労働力調査（総務省）

1人平均月間現金給与総額および所定外労働時間数の推移(規模5人以上)



資料：毎月勤労統計調査（厚生労働省）

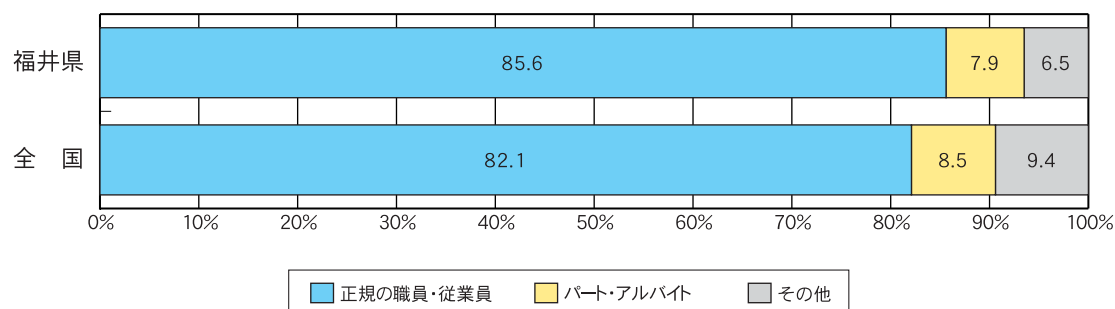
※1 就業者 ぶだん、収入を得ることを目的として仕事を持っている人および仕事を持っているが現在は休んでいる人
 ※2 就業率 就業者を15歳以上人口で割った数字

■就業者の雇用形態をみると、男女ともパート・アルバイトの割合が増加する傾向があり、特に女性のパート・アルバイトの割合は大きくなっています。

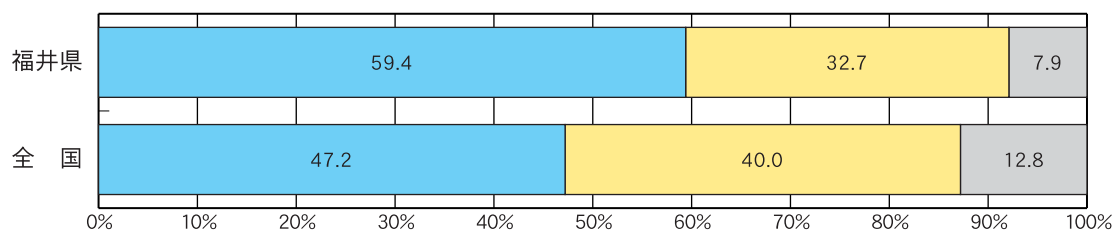
しかし、正規の割合は全国平均と比較すると、12.2ポイント高いなど、良好な雇用環境にあることが伺われます。

従業員上の地位、雇用形態別就業者数(平成18年)

(男)



(女)



資料：労働力調査（総務省）
労働状況調査（福井県）

◆コラム◆ 福井の女性は働き者

「福井の女性は働き者」といわれますが、これを示す全国第1位のデータには、次のようなものがあります。

●労働力人口比率(平成17年国勢調査)

労働力人口とは、就業者(主に仕事、家事などのほか仕事、通学のかたわら仕事、休業者)と仕事を探している人(完全失業者)を合わせたものです。労働力人口比率(労働力率ともいう。)は、労働力人口を15歳以上人口で割った数字で、福井県の女性の労働力人口比率は、53.1%で全国1位です。

●就業率(平成17年国勢調査)

就業率は、仕事を探している人を除き、実際に仕事を持っている人のみを対象としている点で労働力人口比率と異なります。本県の女性の就業率は、51.3%で全国1位です。

●夫婦のいる一般世帯数に占める夫婦とも就業の割合(平成17年国勢調査)

一般に「共働き率」といわれる数字で、58.2%で全国1位です。なお、共働き率は、全国的に低下する傾向にあります。

貿易

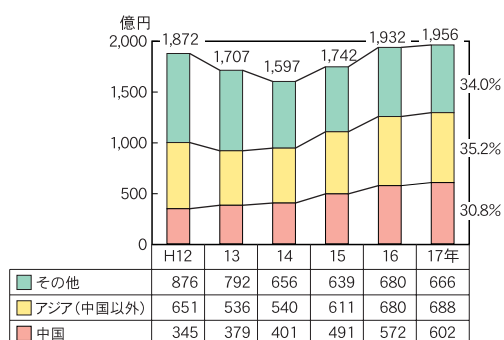
★中国が本県の最大の貿易相手国です★

■福井県の貿易額は、平成17年で輸出が1,956億円、輸入が1,100億円で、輸出超過額が856億円と前年に比べ9.7%減少しました。地域別では、輸出入ともにアジアが多く、全体に占める割合も年々増加しています。中でも中国は輸出額で全体の30.8%、輸入額で全体の49.1%を占め、本県にとって最大の貿易相手国となっています。

■品目別で最も多いのは、輸出では「機械類および電気機器ならびにこれらの部分品」、輸入では「卑金属およびその製品」となり、それぞれ全体の34.5%、27.7%を占めています。

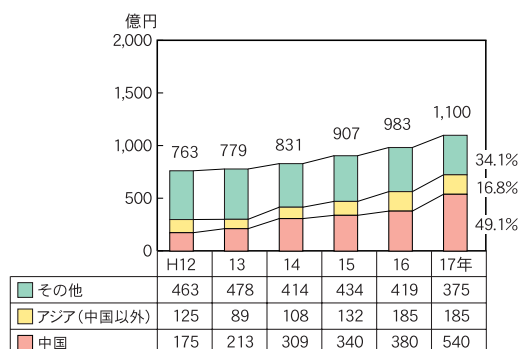
■平成18年の敦賀港の取扱いコンテナ個数は、輸出、輸入ともに前年を下回りました。

輸出額の推移



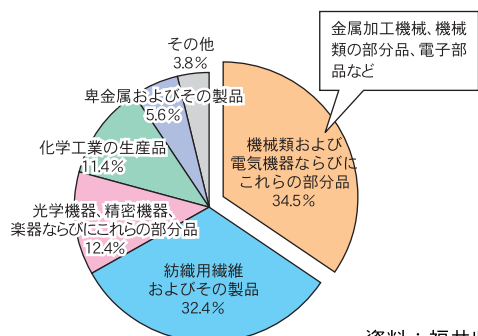
資料：福井県の貿易

輸入額の推移



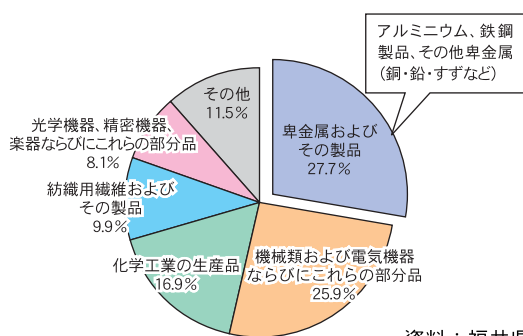
資料：福井県の貿易

輸出品目別割合《1,956億円》(平成17年)



資料：福井県の貿易

輸入品目別割合《1,100億円》(平成17年)



資料：福井県の貿易

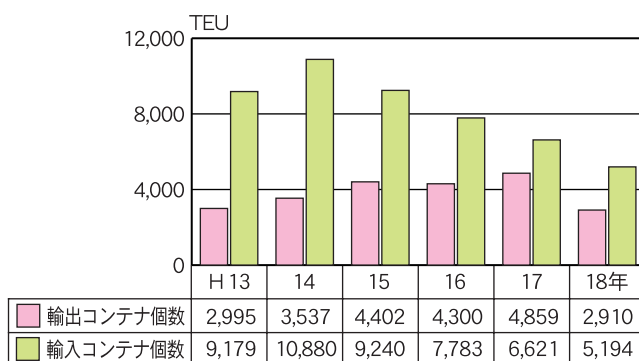
県内企業の船積港(空港)別輸出額(平成17年)

順位	港湾(空港)	金額(千円)	構成比
1	神戸港	41,779,250	30.5
2	大阪港	27,994,350	20.5
3	関西国際空港	26,885,893	19.6
4	名古屋港	19,765,278	14.4
5	横浜港	4,717,430	3.4
7	敦賀港	2,149,079	1.6

県内企業の荷揚港(空港)別輸入額(平成17年)

順位	港湾(空港)	金額(千円)	構成比
1	神戸港	38,328,608	34.8
2	名古屋港	28,885,184	26.3
3	大阪港	21,844,748	19.9
4	関西国際空港	5,697,598	5.2
5	敦賀港	3,420,957	3.1
6	福井港	3,175,814	2.9

敦賀港の輸出入コンテナ個数※推移



資料：敦賀港統計年報

※コンテナ個数換算(T E U) 20フィートに換算したコンテナ個数の単位で、20フィートコンテナ(高さ2.5m×幅2.5m×長さ6m)1個が1 T E U、40フィートコンテナ(高さ2.5m×幅2.5m×長さ12m)1個が2 T E Uとなります。

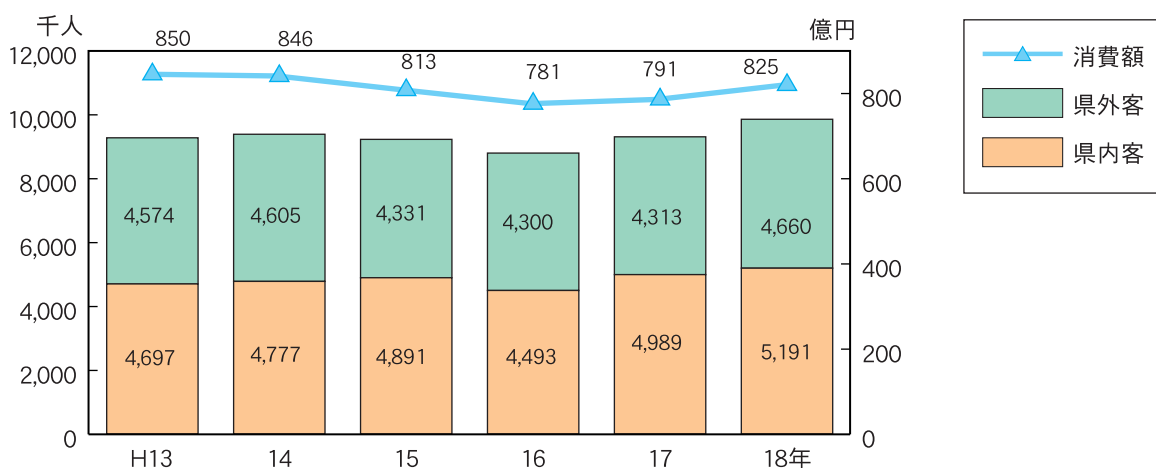
観光

★関西からの入込客が県外客の約4割を占めています★

■福井県の観光は、ゴールデンウィークや秋の行楽シーズンが天候に恵まれたことなどにより、平成17年に引き続き2年連続で県外客・県内客ともに増加しています。

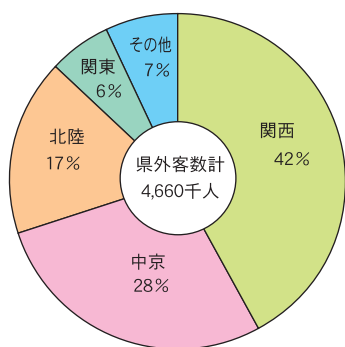
■観光客の約5割が県外客で、関西や中京からの客が圧倒的に多く、また、越前若狭の豊かな自然やロマンに満ちた歴史に触れるため本県を訪れる観光客が多いようです。

観光客入込数〔実人数〕と観光消費額の推移



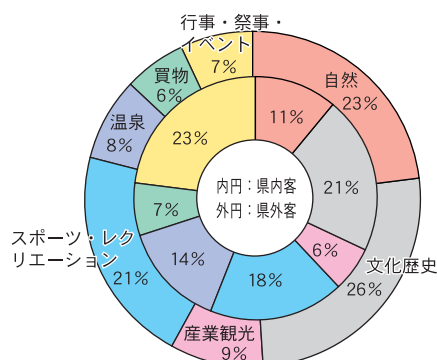
資料：福井県観光客入込数（推計）（福井県観光振興課）

県外観光客の出発地別観光客入込割合（平成18年）



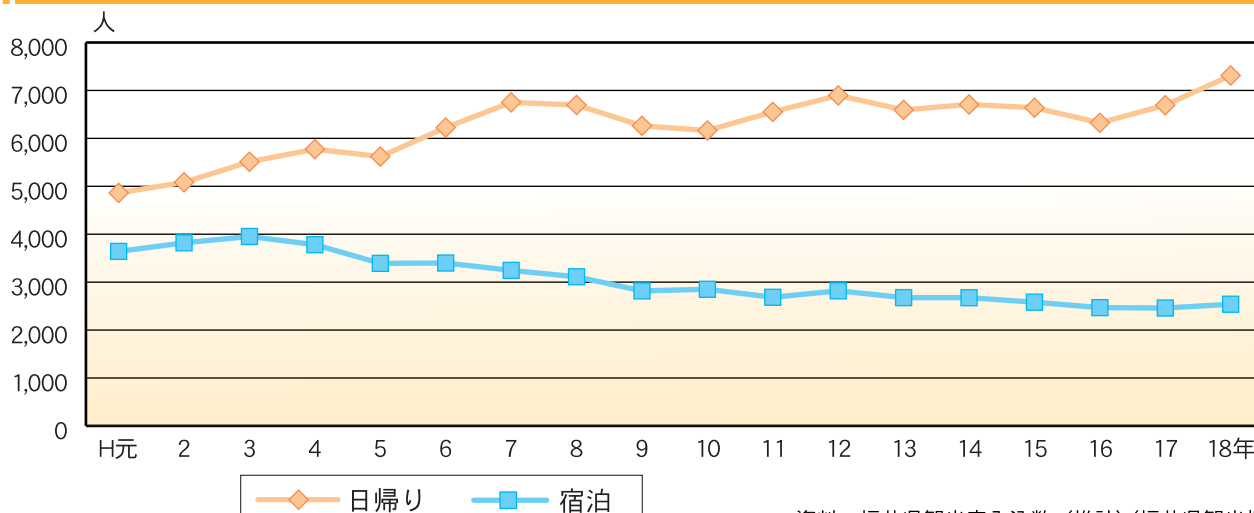
資料：福井県観光客入込数（推計）（福井県観光振興課）

目的別観光客入込数（平成18年）



資料：福井県観光客入込数（推計）（福井県観光振興課）

日程別観光客入込数の推移〔実人数〕



資料：福井県観光客入込数（推計）（福井県観光振興課）

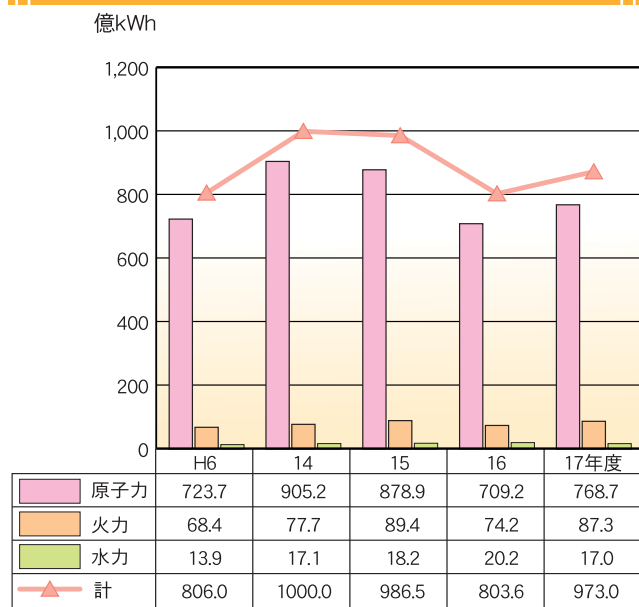
エネルギー

★原子力発電電力量は全国1位で約1/4を占めています★

■福井県は、全国有数のエネルギー供給県であり、その大部分が原子力発電によるものです。原子力発電電力量を県別にみると、本県は全国1位で全体の約4分の1を占めています。

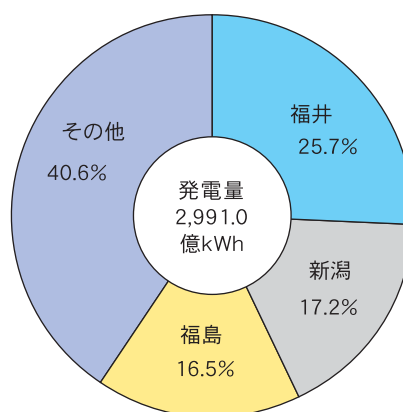
■関西圏で使用する電力量の約50～60％は県内での原子力発電によるものであり、本県は関西圏にとって重要な電力供給県であることが分かります。

福井県の発電量の推移



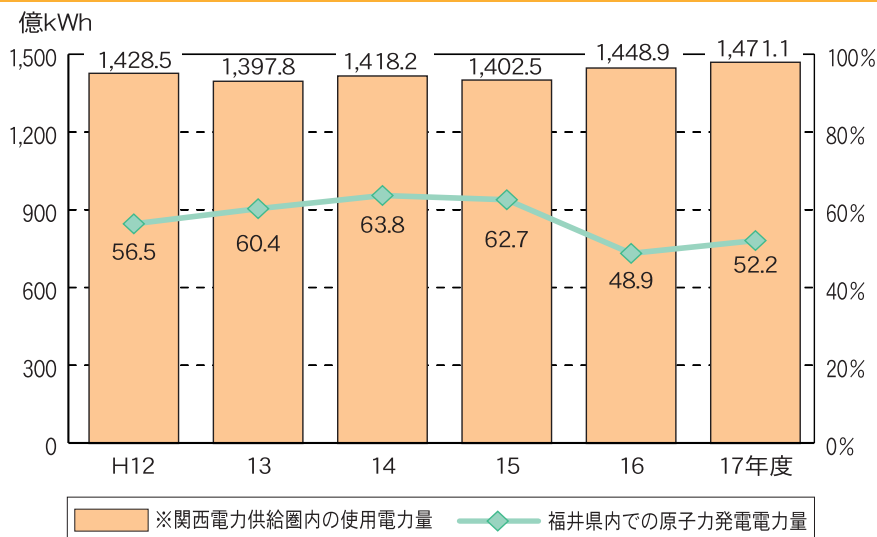
資料：福井県統計年鑑（福井県政策統計課）

原子力発電所の出力の県別構成比(平成17年度)



資料：福井県原子力安全対策課

関西電力供給圏内の使用電力量およびそれに対する福井県内での原子力発電電力量の割合の推移



資料：福井県原子力安全対策課

※ 関西電力供給圏 大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県等の地域

◆コラム◆ 福井県営の水力発電所

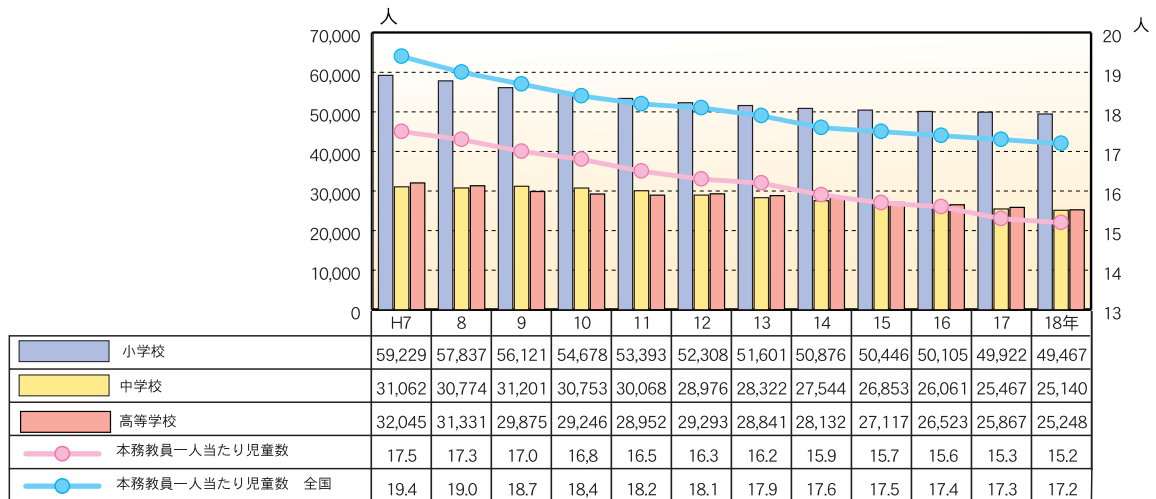
福井県には、中島発電所、滝波川第一発電所、真名川発電所、山口発電所、中島第二発電所、広野発電所の6ヶ所の県営の水力発電所があります。これらの水力発電所の最大出力は合計で50,000kWで、年間の供給電力量は約239,800MWhになり、全て北陸電力株式会社に卸供給しています。これは、約65,000世帯が1年間に消費する電力量に相当し、石油に換算すると約6万キロリットルになります。水力発電は天然の水資源を利用しているため、発電の際に二酸化炭素等が発生することがなく、地球にやさしいクリーンなエネルギーといえます。

教 育

★大学等への進学率は54.5%で全国7位です★

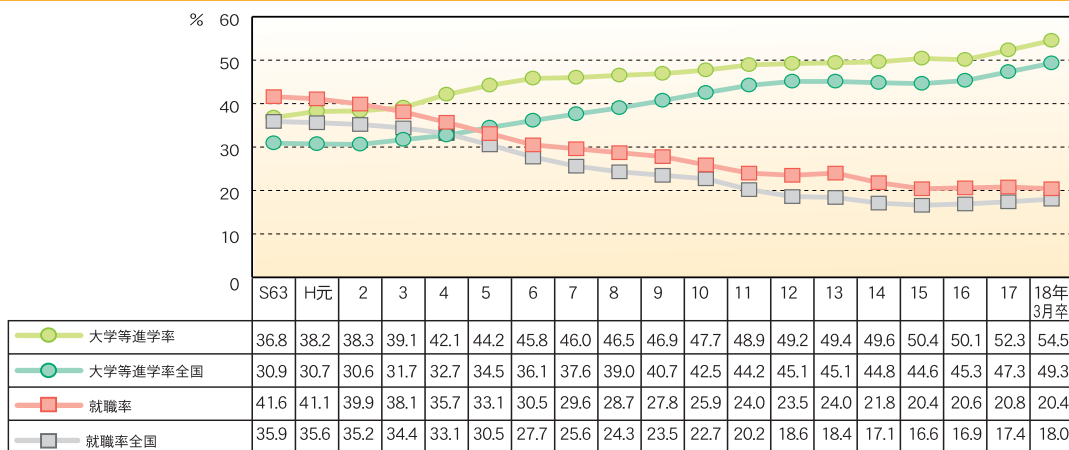
- 平成18年5月1日現在の福井県の児童・生徒数は小学校が49,467人、中学校が25,140人で、いずれも過去最少となりました。小学校の教員1人あたり児童数は15.2人で、全国平均より2人少なくなっています。
- 平成18年3月の高等学校卒業者の大学等への進学率は過去最高の54.5%で、全国平均より5.2ポイント高く、全国7位となっています。
- 高等学校卒業者が県内で進学または就職をする割合は、平成9年までは5割を超えていたものの、平成10年以降は5割前後で推移しています。

児童・生徒数の推移



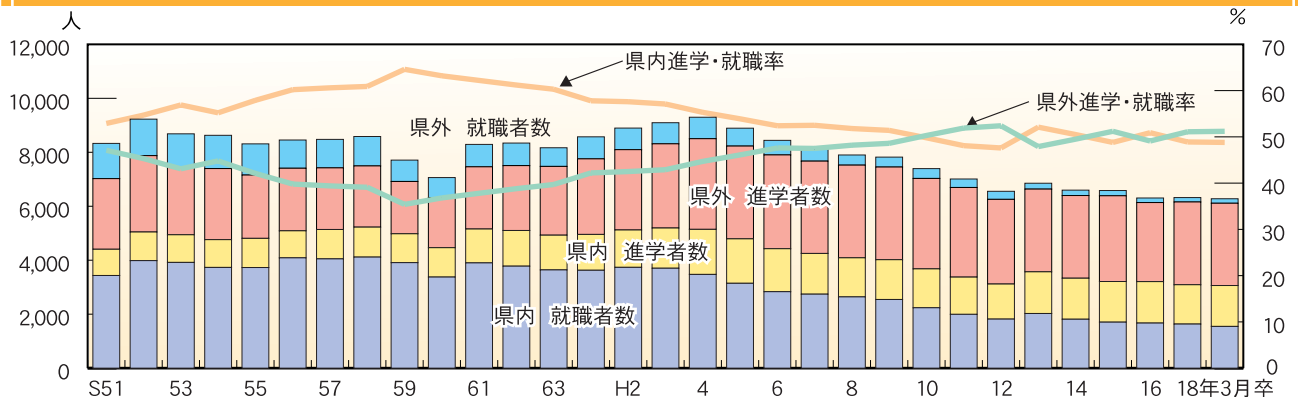
資料：学校基本調査報告書（福井県政策統計課）

高等学校卒業者の大学進学率および就職率の推移



資料：学校基本調査報告書（福井県政策統計課）

高等学校卒業者の県内・県外別進学・就職者数および率の推移



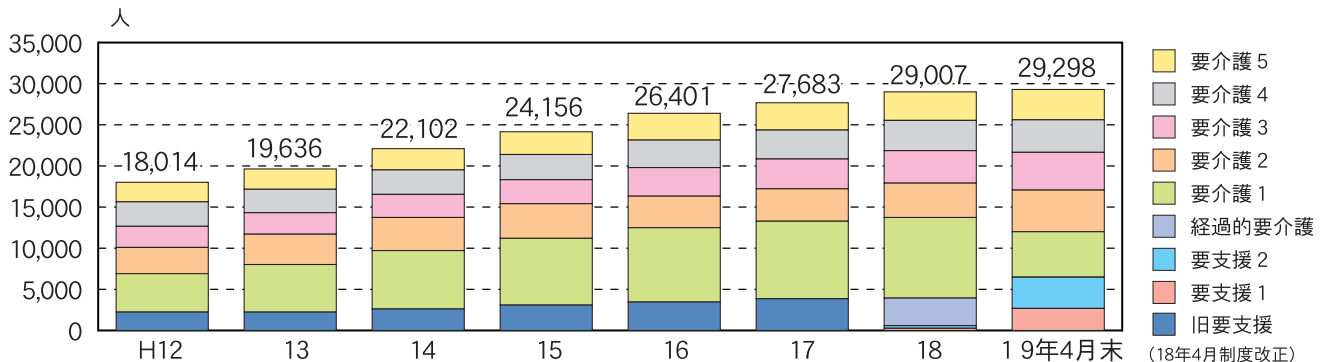
資料：学校基本調査報告書（福井県政策統計課）

福祉・医療

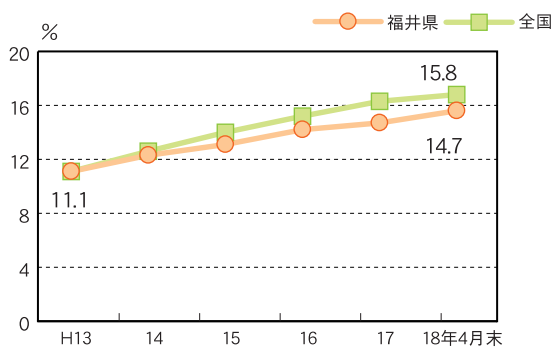
★第1号被保険者に占める要介護認定率は全国平均を下回っています★

- 平成19年4月末現在の介護保険の要介護(支援)認定者は29,298人で、12年4月末と比較して、63%増加しました。
- 平成18年4月末現在の第1号被保険者(65歳以上)に占める要介護認定者の割合は14.7%で、全国平均より1.1ポイント低くなっています。
- 県内の死亡者数を死因別にみると、悪性新生物による死亡が最も多く、また年々増加しています。全国と比較すると、男女とも心疾患および不慮の事故による死亡の割合が高くなっています。

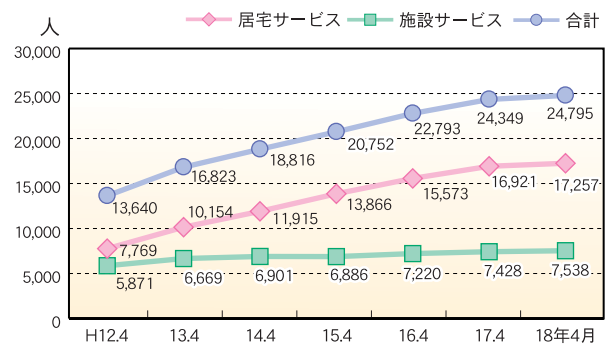
要介護認定者の推移



要介護認定率(第1号被保険者)の推移



介護保険サービス利用者数の推移



資料：介護保険事業状況報告(厚生労働省)

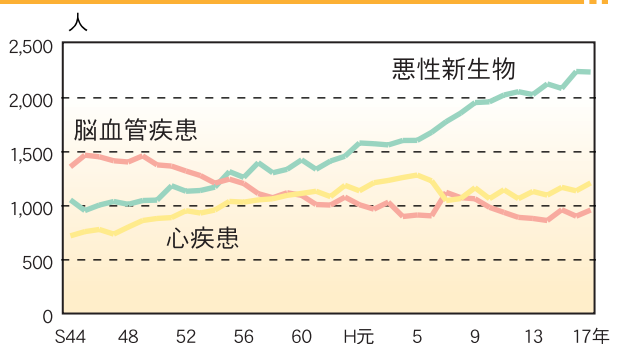
死因別死亡確率(平成12年)

(単位：%)

	悪性新生物		心疾患		脳血管疾患		3大死因(計)		肺炎		不慮の事故	
	確率	順位	確率	順位	確率	順位	確率	順位	確率	順位	確率	順位
全 国 男	29.77	...	14.45	...	13.23	...	57.45	...	11.72	...	4.12	...
福 井 県 男	28.22	40	14.97	12	12.73	32	55.91	38	11.78	23	5.23	4
全 国 女	20.30	...	18.57	...	16.99	...	55.87	...	11.51	...	2.88	...
福 井 県 女	20.58	11	19.35	10	15.94	38	55.86	25	10.42	34	3.34	11

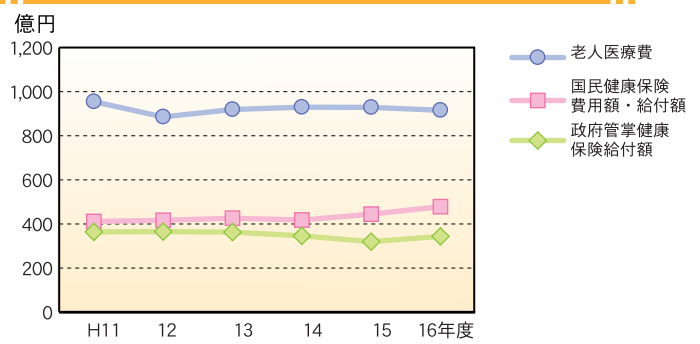
資料：生命表(厚生労働省)

3大死因の推移



資料：人口動態統計(厚生労働省)

医療費の推移



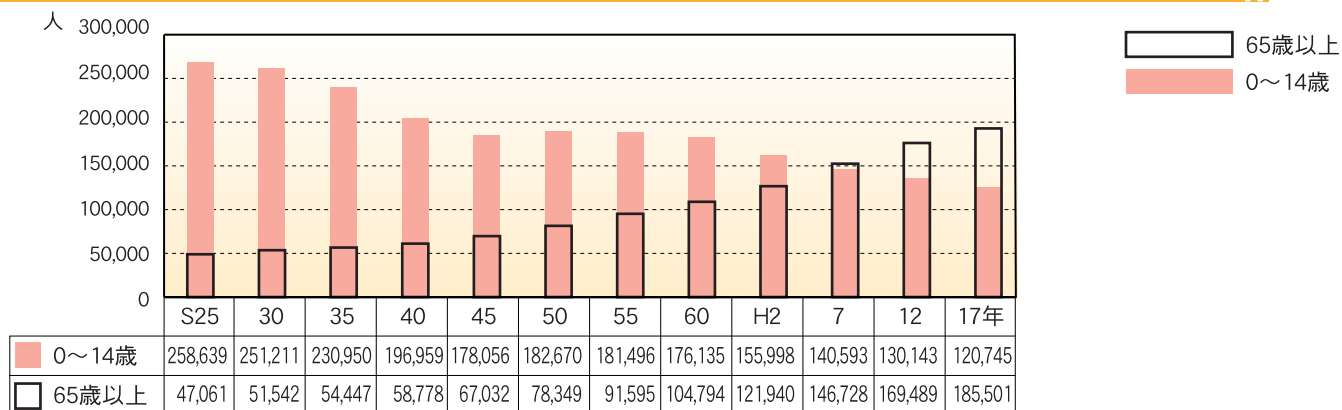
資料：福井県統計年鑑(福井県政策統計課)
老人医療事業年報(厚生労働省)

高齢化・健康長寿

★平均寿命は男女とも全国2位の長寿県です★

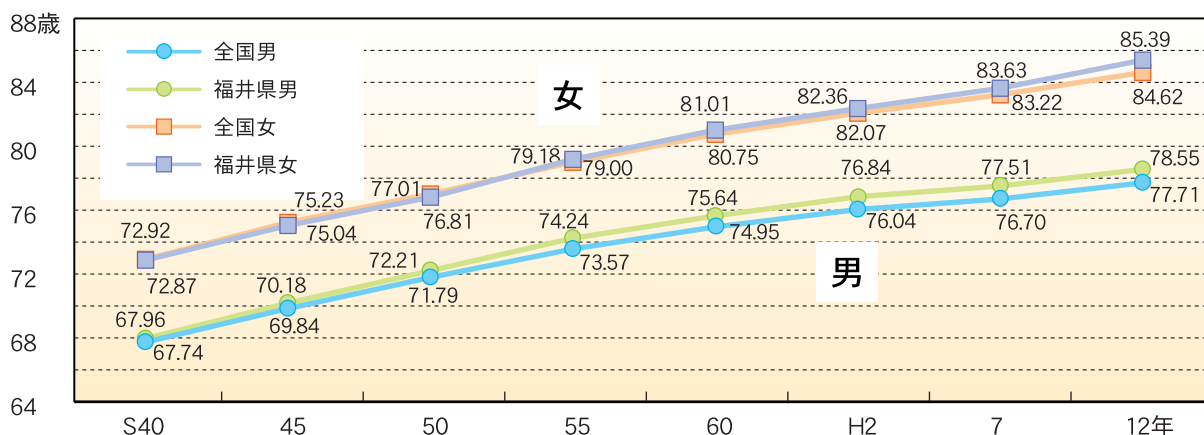
- 福井県では、第1次ベビーブーム期(昭和22年～24年)以降、年少人口(0～14歳)が減少し、老年人口(65歳以上)が増加する傾向が続いています。平成7年には初めて老年人口が年少人口を上回り、平成17年には老年人口が年少人口を約6万5千人上回っています。
- 本県の平均寿命は、昭和40年には男性が全国14位、女性が24位でしたが、平成12年には男女とも2位になり、長野県と並んで全国トップレベルの長寿県になりました。

年少人口および老年人口の推移



資料：国勢調査報告（総務省）、福井県の推計人口（福井県政策統計課）

平均寿命の推移



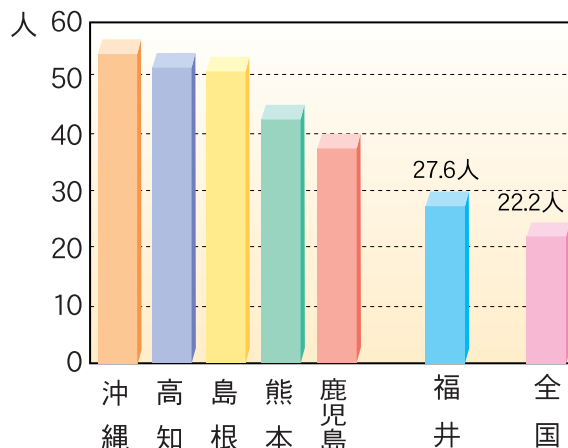
資料：生命表（厚生労働省）

都道府県別平均寿命(平成12年)

順位	男		女	
	都道府県	平均寿命	都道府県	平均寿命
1	長野県	78.90	沖縄県	86.01
2	福井県	78.55	福井県	85.39
3	奈良県	78.36	長野県	85.31
4	熊本県	78.29	熊本県	85.30
5	神奈川県	78.24	島根県	85.30
6	滋賀県	78.19	岡山県	85.25
7	京都府	78.15	富山県	85.24
8	静岡県	78.15	山梨県	85.21
9	岐阜県	78.10	新潟県	85.19
10	埼玉県	78.05	石川県	85.18

資料：生命表（厚生労働省）

人口10万人あたり100歳以上高齢者数(平成18年9月)



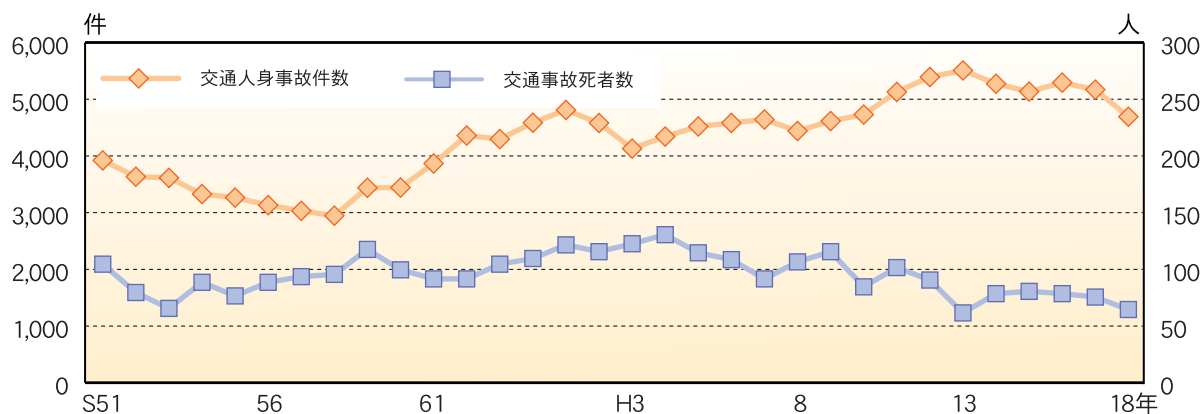
資料：厚生労働省調べ

交通事故・防犯・防災

★人口10万人当たりの人身事故件数は全国37位です★

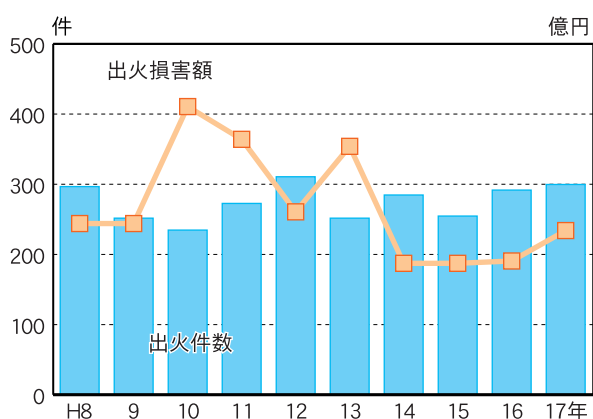
- 福井県の交通人身事故件数は平成11年以降5,000件を超えていましたが、平成18年は8年ぶりに5,000件を下回りました。また、交通事故死者数は減少傾向にあります。
- 出火件数はこの10年間でほぼ300件程度で推移しています。20年前の出火原因と比べると、放火(疑い含む)を除いて減少しています。
- 人口千人当たりの刑法犯認知件数は、平成14年をピークに4年連続で減少しています。検挙率は、平成12年から一貫して全国を上回っています。

交通人身事故件数と交通事故死者数

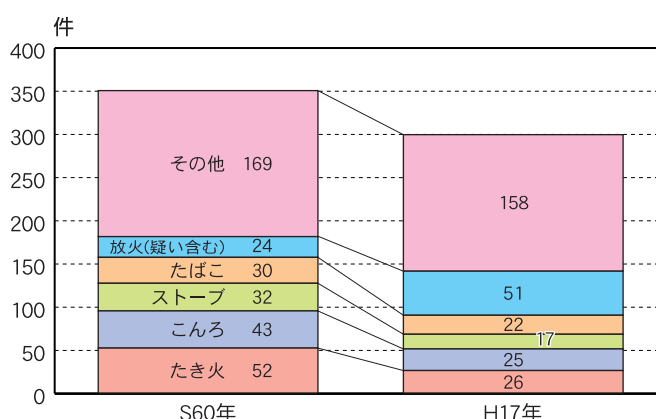


資料：福井の交通（福井県警察本部）

出火件数と出火損害額の推移

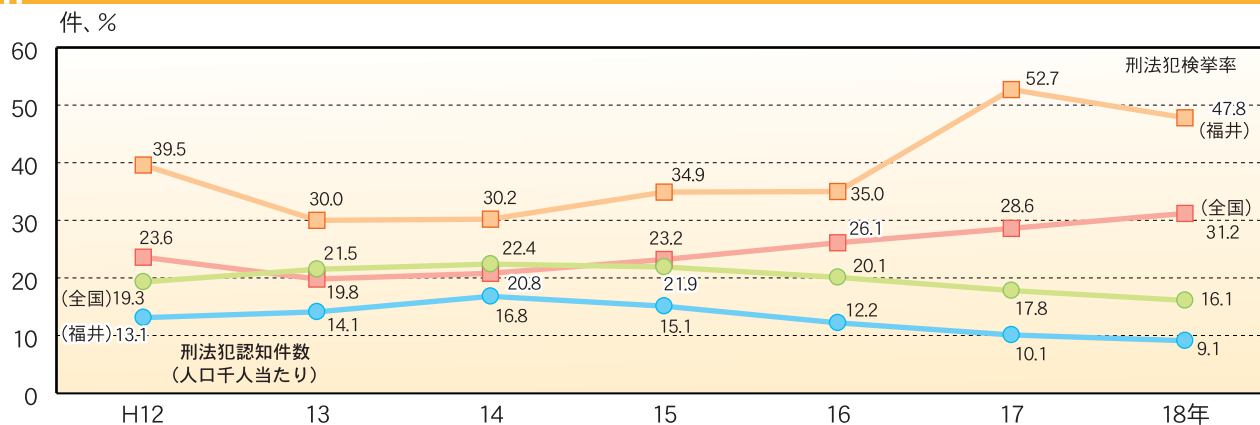


20年前との出火原因の比較



資料：消防防災年報（福井県危機対策・防災課）

刑法犯※1検挙率と人口千人当たりの刑法犯認知件数※2



資料：犯罪統計資料（警察庁）

※1 刑法犯 交通事故にかかる業務上(重)過失致死傷を除いた刑法に規定する罪をいう。

窃盗犯、凶悪犯、粗暴犯、知能犯、風俗犯などに分類される。

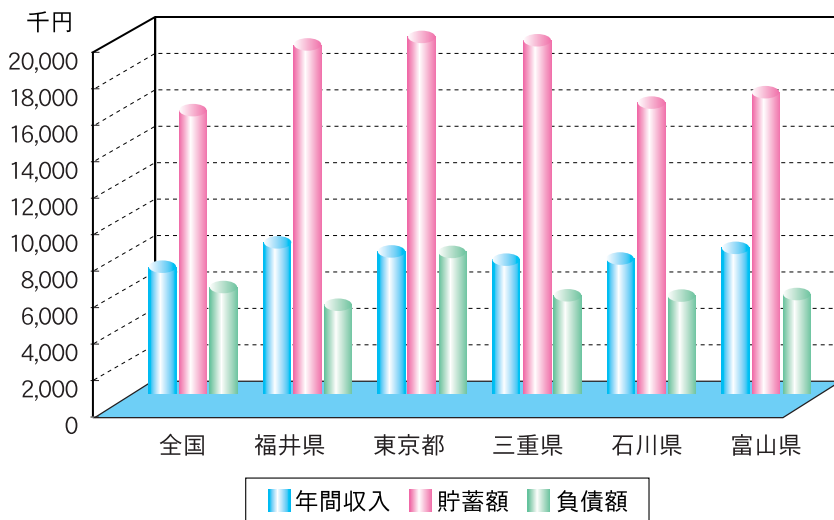
※2 認知件数 警察において発生を認知した事件の数をいう。

家計・消費

★世帯の家計収入は全国1位、貯蓄現在高は全国3位です★

- 福井県の家計は、1世帯当たりの収入および貯蓄が多いことが特徴で、平成16年の都道府県別の順位をみると、年間収入は全国1位、貯蓄現在高は全国3位となっています。
- 平成16年の1世帯当たりの消費支出は、住居費、教育費等で全国よりも割合が低くなっています。これは、持ち家率が高いことや私立学校が少ないことによるものと考えられます。
- 物価の地域差を示す消費者物価地域差指数をみると、北陸地方は全国水準よりも少し高くなっていますが、北陸3県の中では本県が1番低くなっています。
- 近年の一般世帯の支出の傾向として福井県、全国ともに商品からサービスへの支出に移行しつつあり、特に携帯電話の普及により交通・通信サービスへの支出は急増しています。

年間収入、貯蓄、負債額の1世帯当たり現在高[全世帯](平成16年)



都道府県別年間家計収入 (千円)

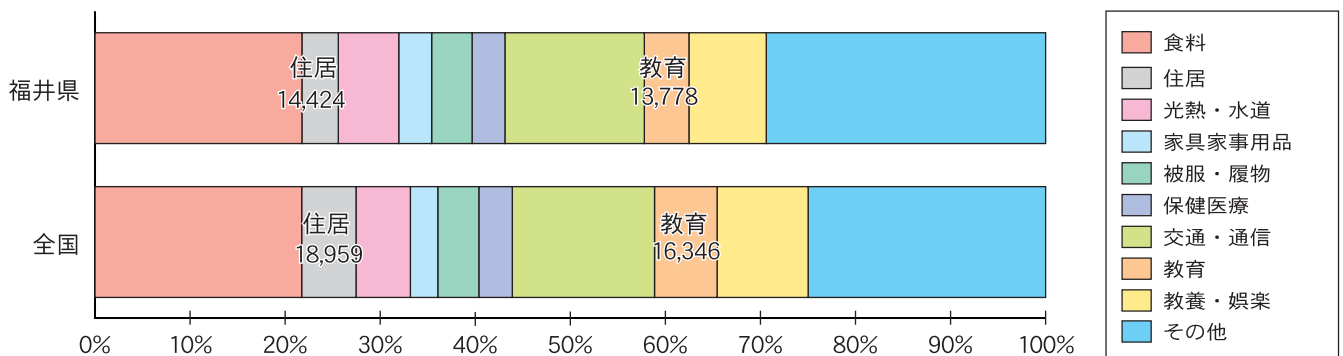
順位	都道府県	年間収入
1	福井県	8,297
2	富山県	8,001
3	東京都	7,799

都道府県別家計貯蓄現在高 (千円)

順位	都道府県	貯蓄現在高
1	東京都	19,577
2	三重県	19,394
3	福井県	19,111

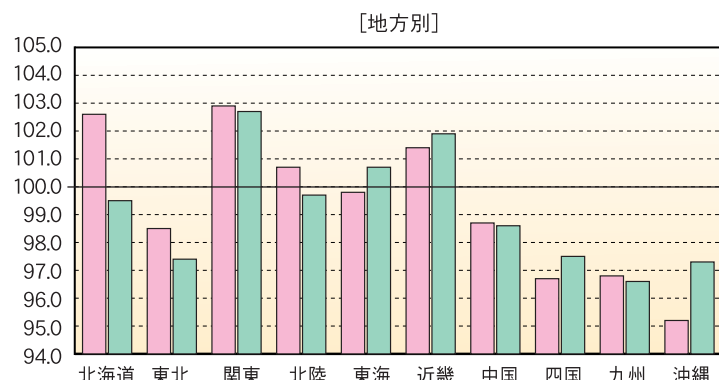
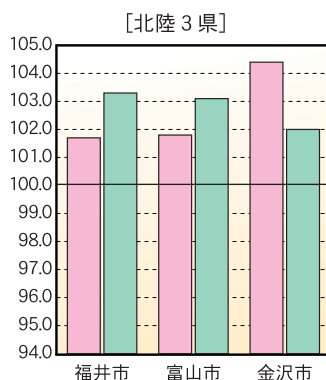
資料：平成16年全国消費実態調査（総務省）

消費支出(生活費)の内訳[全世帯](平成16年)



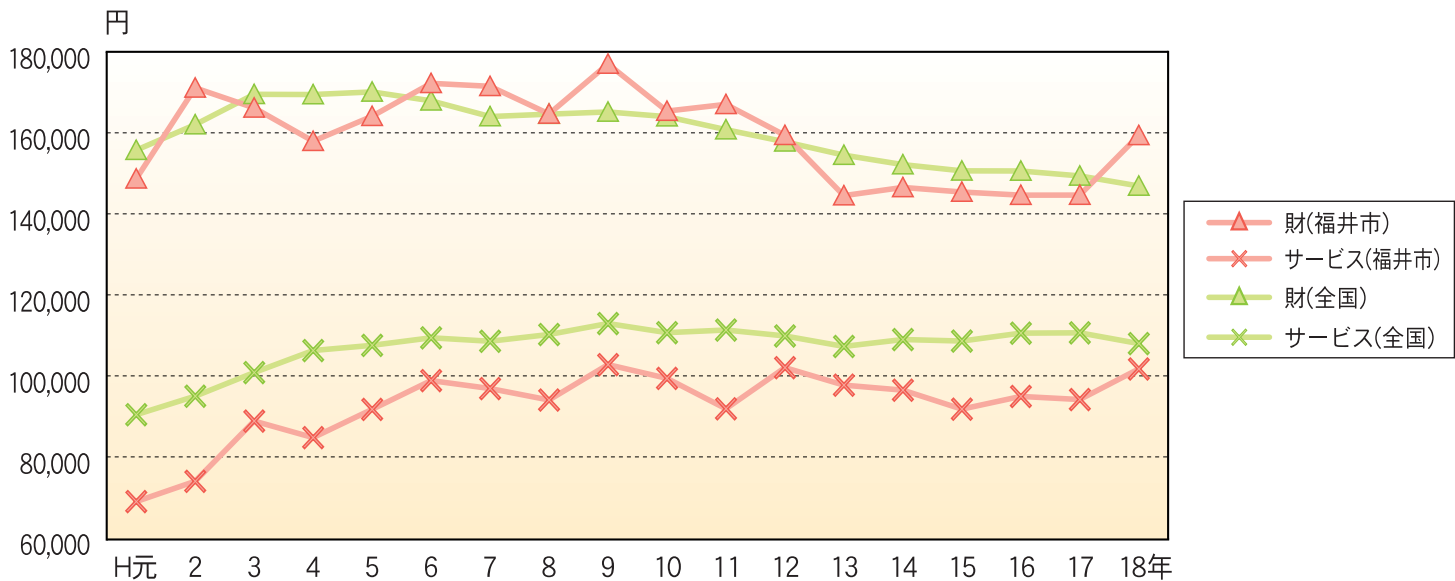
資料：平成16年全国消費実態調査（総務省）

消費者物価地域差指数（平成17年）



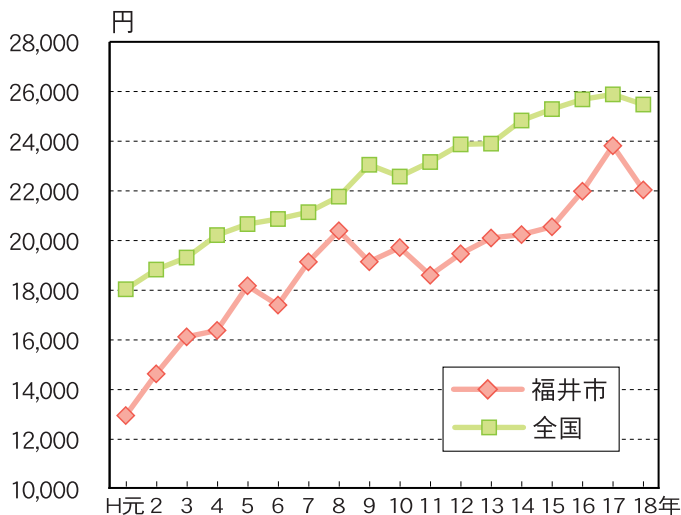
資料：平成17年消費者物価地域差指数（総務省統計局）

財・サービス支出の推移〔全世帯〕（1世帯当たり月平均支出金額）



資料：家計調査年報（総務省）

交通・通信サービスへの支出の推移



資料：家計調査年報（総務省統計局）

主な品目の価格の推移

(単位：円)

品目	地域	H3年	H18年
うるち米	福井	5,595	4,584
(コシヒカリ) 10kg	全国	5,677	5,030
民営家賃	福井	2,917	3,907
3.3㎡	全国	3,512	4,585
自転車	福井	32,770	24,850
1台	全国	33,239	22,416
ルームエアコン	福井	188,850	182,440
1台	全国	179,006	167,199
新聞代(地方紙)	福井	2,060	2,650
1月	全国	2,705	3,401
背広服	福井	75,880	40,260
1着	全国	55,232	42,347
塾月謝(中学生)	福井	12,290	15,270
週2～3回	全国	11,093	23,176
テレビ	福井	21型 91,250	21型 26,080
1台	全国	21型 86,687	21型 26,784

※ 福井…福井市の価格

全国…県庁所在市および人口15万以上の市の価格を平均したもの

資料：小売物価統計調査年報（総務省統計局）

◆コラム◆ 福井の家庭では調理食品が人気

家計調査の結果による福井市の1世帯当たりの品目別支出金額のランキングによると、調理食品は過去4年間（平成15～18年）全国で5位以内に位置しています。

中でも特にカツレツ、コロッケ、天ぷら・フライ、やきとりは近年上位にランキングされています。

調理食品が上位にランキングされているのに比べ、野菜は比較的下位にランキングされている品目が多く、キャベツ、

品目名	平成16年	平成17年	平成18年
さといも	3位	3位	1位
キャベツ	49位	48位	37位
にんじん	47位	44位	35位
たまねぎ	45位	43位	21位

品目名	平成17年	平成18年
カツレツ	1位	1位
コロッケ	2位	1位
天ぷら・フライ	2位	1位
やきとり	5位	1位

にんじんは近年35位以下にランキングされており、家庭菜園をしている世帯が多いということも原因の一つと考えられます。

野菜の中でも毎年ランキングが上位の品目はさといもで、これは大野市でさといもの収穫量が多く、県内での出回りが多いことが影響しているのではないかと考えられます。

都道府県別ランキング…都道府県庁所在市別（川崎市、北九州市を含む）ランキング

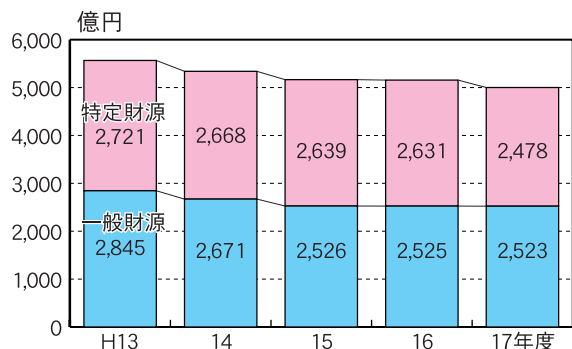
財 政

★歳入決算総額に占める地方税の割合は全国28位です★

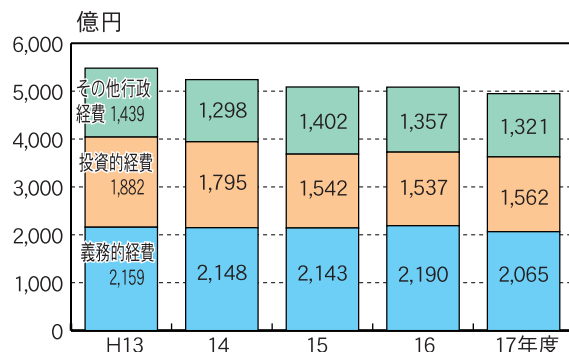
■平成17年度の県一般会計決算額は、歳入が5,000億円、歳出が4,948億円で前年度に比べ歳入が3.0%、歳出が2.7%それぞれ減少しています。

■平成17年度の県税収入決算額は、前年度に比べ、核燃料税が11億円の増加、地方消費税が12億円減少しており、全体としては前年度とほぼ同額です。

性質別歳入決算額の推移

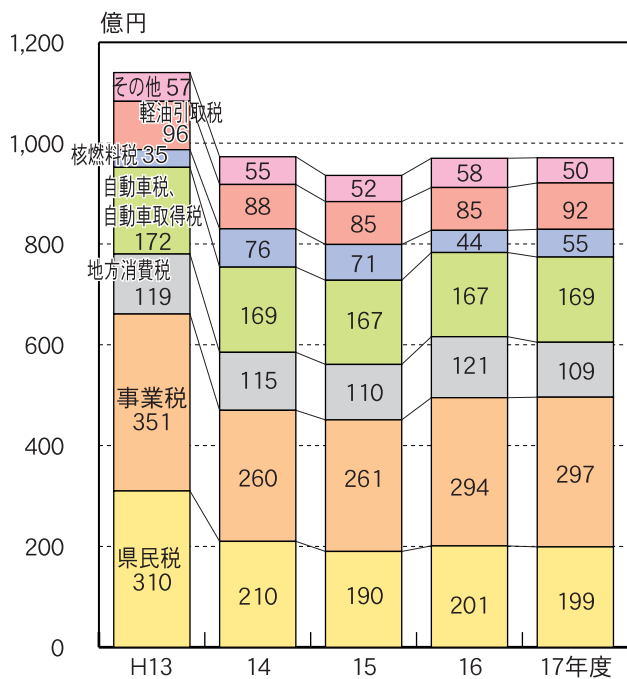


歳出決算額の推移



資料：財政事情（福井県財務企画課）

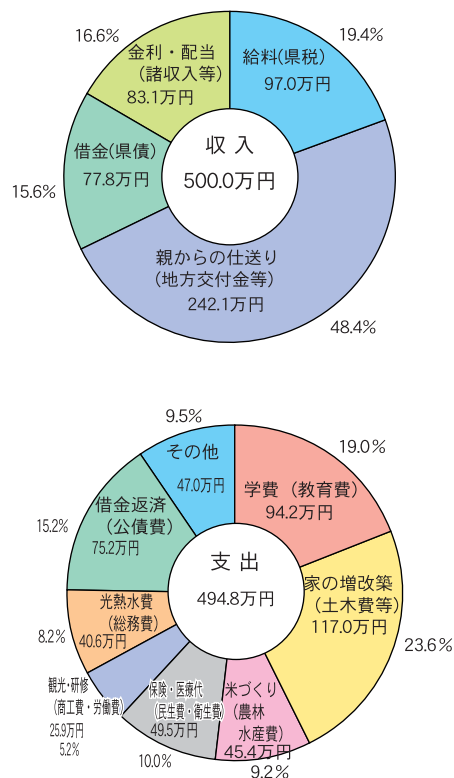
税目別県税決算額の推移



資料：財政事情（福井県財務企画課）

◆コラム◆

本県の決算を一般家庭に置き換えると…



※県の歳入歳出額を家計に置き換えており

10万分の1に換算している。

また、()内が実際の歳入・歳出の区分を表す。

資料：財政事情（福井県財務企画課）

- ※1 義務的経費
- ※2 投資的経費
- ※3 その他行政経費
- ※4 一般財源
- ※5 特定財源

経費支出が法律等により義務付けられている経費をいう(人件費、扶助費、公債費)。
道路や河川、学校など生活関連施設の建設、整備に使う経費をいう(公共事業費、災害復旧事業費)。
義務的経費、投資的経費以外の経費をいう(補助金、貸付金など)。
用途が特定されていない財源をいう(県税、地方譲与税、地方交付税など)。
用途が特定されている財源をいう(国庫支出金、県債など)。

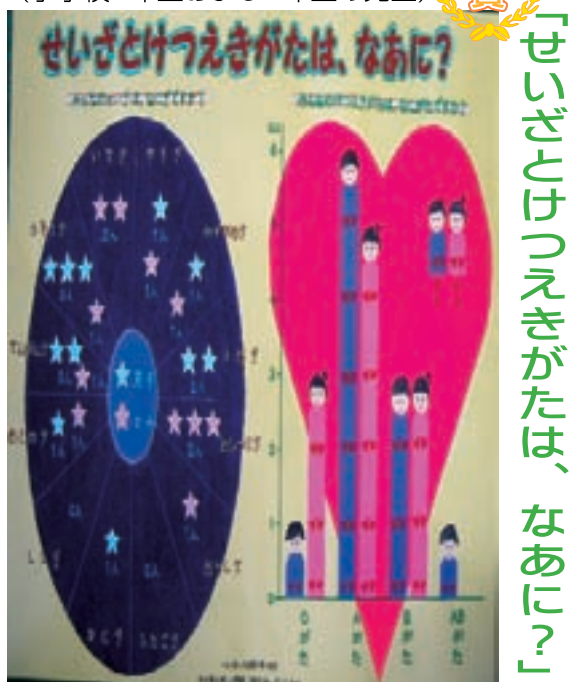
平成18年度統計グラフ福井県コンクール入賞作品

県では、日常生活の中で利用する統計の有効性を知ってもらい、より多くの方に統計に興味を持っていただくことを目的として、毎年統計グラフ福井県コンクールを実施しています。

18年度は、県内の小・中学生309名から246点の応募があり、厳正な審査の結果、金賞・銀賞・銅賞・佳作合わせて32点の入賞作品を決定しました。ここでは、金賞と全国コンクール奨励賞を受賞した作品を紹介します。

第1部

(小学校1年生および2年生の児童)



武生東小学校2年
関 有珠さんの作品

第2部

(小学校3年生および4年生の児童)



武生東小学校3年
北川 慎さんの作品

第3部

(小学校5年生および6年生の児童)

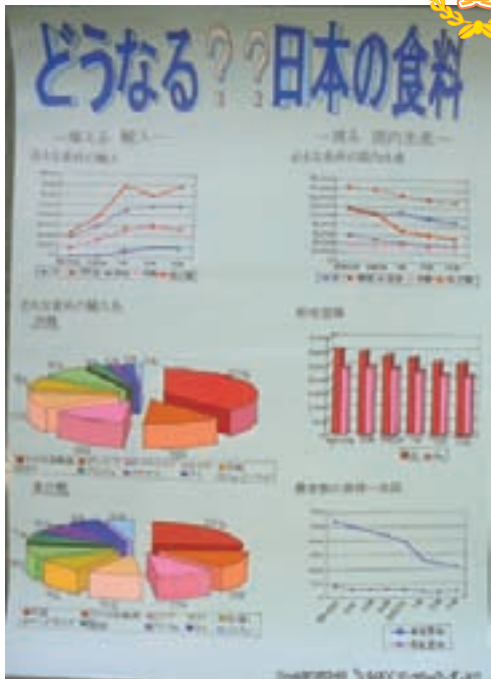


「ストップ! 地球温暖化」

神野小学校6年
宮本 春実さんの作品

第4部

(中学校の生徒)



「どうなる??日本の食料」

武生第一中学校1年 奥山 理聡子さんの作品

パソコンの部

(小学校の児童以上)



「森林は僕らの生命維持装置」

武生第一中学校1年 中澤 宏奎さんの作品

全国コンクール奨励賞



「うおっ 魚!! お魚パワーを
ご存じですか?」

神野小学校5年
山本 哲也さんの作品

自由なテーマで、観察・調査した結果や既存の統計資料などをグラフにしてみませんか?

今年も統計グラフ福井県コンクールを開催します。県内の小学生、中学生、高校生および一般の方を対象に統計グラフの作品を募集しています。優秀作品には、賞状・副賞が授与され、特に優秀な作品は全国コンクールに出品されます。また、参加された方全員に参加賞も贈呈されますので是非御参加ください。

応募締切

平成19年9月5日(水)

問い合わせ先

福井県総務部政策統計課

Tel 0776-20-0273



健康長寿な福井です。

07. 6.12120